

重点事業の自己評価

報告書

(平成 30 年度自己評価シート取りまとめ)

令和元年 9 月

仙 台 市

目次

1 重点事業の自己評価の概要	1
2 重点事業 自己評価シート	
Ⅰ 都市像の実現を牽引する4つの重点政策	
1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり	
(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進	4
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり	6
(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力	7
2 地域で支え合う心豊かな社会づくり	
(1) 共生・健康社会づくり	11
(2) 子育て応援社会づくり	15
(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み	19
3 自然と調和した持続可能な都市づくり	
(1) 低炭素・資源循環都市づくり	23
(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進	26
(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成	28
(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり	30
4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり	
(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大	32
(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み	35
(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致	39
(4) 新たな都市軸の形成と活用	42
Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針	
1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み	44
2 安全・安心確保の取り組み	48
3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み	50
Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針	
1 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進	52
2 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進	54
3 地方の時代を先導する市役所への自己変革	58
4 公共施設の経営改革	59

重点事業の自己評価の概要

1 趣旨

仙台市実施計画（平成 28 年度～平成 30 年度）は、仙台市基本計画に掲げる目標の達成に加え、東日本大震災における長期的視点により取り組むべき課題に対し、3 年間に取り組む施策を明らかにしたものであり、施策の着実な推進とともに実効性の確保に向けた取り組みが不可欠です。そのため、仙台市実施計画の進行管理については、施策目標の達成状況等にかかる評価・点検を毎年度実施し、その結果も考慮して、次年度への予算への適切な反映に努めることとしております。

この度、仙台市実施計画に掲げる重点事業について、平成 30 年度における進捗状況の自己評価を行い、取りまとめました。

2 評価方法

仙台市実施計画「第 2 章 重点的な取り組み」に位置づけた事業（123 事業）について、平成 30 年度に実施した事業内容を整理し、項目ごとに「重点事業 自己評価シート」による評価を行いました。

3 各事業の進捗状況

各事業の進捗状況については、実施計画において定めた指標の達成状況や定性目標に向けた進捗状況を踏まえた自己評価を行い、下記のとおり、◎～×を付しています。

- ◎… 進捗状況が良好であり、目標を大きく上回ったと判断されるもの。
- … 進捗状況が順調であり、目標をほぼ達成したと判断されるもの。
- △… 進捗状況がやや遅れ、目標を一部達成しなかったと判断されるもの。
- ×… 進捗状況が遅れ、目標を達成しなかったと判断されるもの。

4 評価結果の概要

各事業は概ね「○」以上の評価となっており、全体としては計画どおり進捗しています。

予定を大きく上回る成果を上げた事業は、次の 14 事業です。

I 都市像の実現を牽引する 4 つの重点政策

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ○学都推進事業 | ○介護サービス基盤整備促進事業 |
| ○幼稚園の保育機能拡充支援事業 | ○多様な保育サービスの充実 |
| ○子育てふれあいプラザ（のびすく）整備事業 | ○保育所による地域子育て支援事業 |
| ○コミュニティサイクル事業 | ○せんだい E-Action 推進事業 |
| ○中小企業経営基盤強化事業 | ○農食ビジネス推進事業 |
| ○インバウンド推進事業 | ○IT 産業国際連携促進事業 |
| ○地域ウェルビーイング産業創出事業 | ○企業立地促進事業 |

遅れが生じた事業は、次の 21 事業です。

I 都市像の実現を牽引する 4 つの重点政策

- 八木山動物公園総合整備事業
- 市民健康づくり推進事業
- 水道施設災害対策事業
- 都市ガス防災対策強化事業
- 児童生徒の安全確保事業
- 市民連携農業推進事業
- 農業経営体育成支援事業
- 観光プロモーション推進事業
- 荒井駅北土地区画整理事業
- 確かな学力育成事業
- 障害者福祉センター整備事業
- 下水道地震対策事業
- 地域安全対策事業
- 低炭素都市づくり推進事業
- 若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業
- コンベンション誘致事業
- 西部地区観光振興事業

II 復興まちづくりを進める 3 つの政策方針

- 蒲生北部地区復興再整備事業
- 緊急輸送道路防災対策事業
- 東部復興道路整備事業
- 震災復興メモリアル事業

なお、「いじめ防止対策推進事業」は、平成 30 年度において「仙台市いじめの防止等に関する条例」を制定したほか、児童支援教諭やいじめ対策支援員の配置拡充、SNS によるいじめ相談窓口の開設など様々な対策を講じたところですが、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果的ないじめ防止対策の在り方の検討が行われていた時期であることを勘案し、進捗状況の表記は「一」としています。

評価の概要は、次の表のとおりです。また、詳しくは各自己評価シートをご参照ください。

※自己評価シートの「関連する指標等」における元号表記は、計画策定時の表現に合わせ、「平成」で統一しております。

表 重点事業の自己評価結果の概要

項目	自己評価結果	備考
I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策		
1 学びを多彩な活力につなげる都市づくり		
(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:八木山動物公園総合整備事業
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり	一部で予定を上回る成果を上げた事業があるなど、着実に進捗した。	◎学都推進事業
(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:確かな学力育成事業 一:いじめ防止対策推進事業
2 地域で支え合う心豊かな社会づくり		
(1) 共生・健康社会づくり	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。	△:市民健康づくり推進事業 △:障害者福祉センター整備事業 ◎介護サービス基盤整備促進事業
(2) 子育て応援社会づくり	一部で予定を上回る成果を上げた事業があるなど、着実に進捗した。	◎:幼稚園の保育機能拡充支援事業 ◎:多様な保育サービスの充実 ◎:子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業 ◎:保育所による地域子育て支援事業
(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:水道施設災害対策事業 △:下水道地震対策事業 △:都市ガス防災対策強化事業 △:地域安全対策事業 △:児童生徒の安全確保事業
3 自然と調和した持続可能な都市づくり		
(1) 低炭素・資源循環都市づくり	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。	△:低炭素都市づくり推進事業 ◎:コミュニティサイクル事業 ◎:せんだいE-Action 推進事業
(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:市民連携農業推進事業
(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:若林区役所と葉師堂駅を基軸とした賑わい創出事業
(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり	全ての事業において、着実に進捗した。	
4 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり		
(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。	△:農業経営体育成支援事業 ◎:中小企業経営基盤強化事業 ◎:農食ビジネス推進事業
(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。	△:コンベンション誘致事業 △:観光プロモーション推進事業 △:西部地区観光振興事業 ◎:インバウンド推進事業
(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致	一部で予定を上回る成果を上げた事業があるなど、着実に進捗した。	◎:IT 産業国際連携促進事業 ◎:地域ウェルビーイング産業創出事業 ◎:企業立地促進事業
(4) 新たな都市軸の形成と活用	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	×:荒井駅北土地区画整理事業
II 復興まちづくりを進める3つの政策方針		
1 暮らしや経済の再建に向けた取り組み	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:蒲生北部地区復興再整備事業
2 安全・安心確保の取り組み	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:東部復興道路整備事業 △:緊急輸送道路防災対策事業
3 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。	△:震災復興メモリアル事業
III 都市像の実現に向けた4つの経営方針		
1 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進	全ての事業において、着実に進捗した。	
2 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進	全ての事業において、着実に進捗した。	
3 地方の時代を先導する市役所への自己変革	全ての事業において、着実に進捗した。	
4 公共施設の経営改革	全ての事業において、着実に進捗した。	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(1) 学びを楽しむミュージアム都市の推進

目標	まち全体が一つのミュージアムとなって、市民や訪れた人が学びを楽しみ豊かな時間を過ごすことができる「ミュージアム都市」づくりを市民協働で推進します。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①文化振興事業 ②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業 ③ミュージアム連携事業 ④八木山動物公園総合整備事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	仙台クラシックフェスティバルの来場者数(延べ人数)	平成30年度 37,000人を維持	平成27年度 実績37,000人	38,000人	39,300人	38,600人
	市民の文化活動支援・助成・協力年間件数	平成30年度 360件	平成26年度 実績348件	371件	387件	391件
SMMA参加の市有施設の年間利用者数	平成30年度 120万人を維持	平成27年度 実績120万人	1,255,114人	1,232,730人	1,250,877人	
実施計画 における 年次計画	①文化振興事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	文化振興事業における各取り組みの企画、実施、評価・改善					
	②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	事業の企画・実施・検証					
	③ミュージアム連携事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	共同広報事業、ミュージアム活性化事業、地域の知的資源活用推進事業					
	④八木山動物公園総合整備事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	アイアイ導入					
	アイアイ・マダガスカル館整備					
	(仮称)ふれあい動物園整備					
	普及啓発活動・動物繁殖・環境エンリッチメント整備・情報発信等					

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①文化振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「劇都仙台演劇祭(仮)プレイベント」を開催(総入場者数489人) ・「せんだい短編戯曲賞」や「まなぶ☆からだ(演劇と表現のワークショップ)」を実施(総参加者68人) ・市民能楽講座を実施(総入場者数476人) ・2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化プログラムの企画提案を公募し、新規事業2件、継続事業1件を採択・実施 ・内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が進める「beyond2020プログラム」の認証(54件の事業) ・(公財)仙台市市民文化事業団に対する支援や助成を通して、市民の文化・芸術活動を促進(支援183件、助成117件、協力91件) ・復興公営住宅における音楽による交流・心の復興支援や、「みやぎの『花は咲く』合唱団」の活動支援を実施 	○
	②せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台インプロGRESS/みんなの橋プロジェクトの活動報告展、「みんなの船」の製作のほか、関連するトークイベントを開催(活動報告展5,663人来場) ・ワケあり雑がみ部を立ち上げ、仙台七夕まつりにあわせて成果発表(5,648人来場) ・東北リサーチとアートセンターにおいて展覧会などを開催(計1,532人来場) ・アーティストや専門家によるトークイベントを開催(9回/計352人参加) ・印刷物発行(年2回)、自由参加型公開ミーティング開催(1回) 	○
	③ミュージアム連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイト「見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局」運営(参加館イベント情報等 計271件掲載、年間アクセス件数261,693件) ・SMMA公式twitterアカウントを開設 ・フリーペーパー「旬の見験楽学便」発行(年3回/30,000部) ・春季イベント紹介ポスター・チラシ「電車で行こう2019年春のミュージアムの旅」制作(ポスター70部、チラシ5,000部) ・SMMA参加館を紹介する日・英リーフレット発行(15,000部) ・SMMAクロスイベントを実施(5事業) ・周遊イベント「SMMA見験楽学ツアー」を実施(4件) ・共同イベント「ミュージアムユニバース」を開催(2,064人来場) 	○
	④八木山動物公園総合整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園長寿命化計画策定にあたっての老朽度調査の継続実施と再整備基本計画策定の着手 ・JICA草の根技術協力事業の継続 ・JICA草の根技術協力事業の内容を紹介する「マダガスカルふしぎ大図鑑」を開催 ・動物園を活用した「学び」の場を提供する「学習プログラム」を拡充し、市内の学校等へ「学びのガイドブック」を配布 ・アミメキリンやライオンの導入 ・希少動物の繁殖について、クロサイ及びレッサーパンダの繁殖に成功したほか、アフリカゾウの繁殖に向け東北3園で協定を締結し、メスの個体を大森山動物園と交換 <p>※希少動物導入については、輸送手段が確保できないことから、予定していたカムリキツネザルの受け入れが難航している。</p>	△
主な課題及び今後の対応	<p>【文化振興事業】 市民や地域が文化芸術とつながる仕組みづくりや様々な分野との連携にも引き続き積極的に取り組む。</p> <p>【せんだい・アート・ノード・プロジェクト事業】 みんなの橋プロジェクトについては、国内外から注目される橋の機能を持ったアート作品の制作に向け、引き続き地域や関係各所と連携して進める。</p> <p>【ミュージアム連携事業】 広報事業に引き続き取り組み、地域にある文化資源の可視化や活用を促すようなイベントや情報発信に努める。イベントや広報事業の企画においては、参加館との連携を図りながら、ミュージアム利活用の機運を一層高めていく。</p> <p>【八木山動物公園総合整備事業】 平成30年度の調査結果を踏まえ、長寿命化・再整備実施計画の策定に着手する。希少動物の繁殖については大学等と連携し継続的に取り組む。またマダガスカル共和国からのカムリキツネザルの導入については、引き続き輸送事業者の動向を注視していく。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策						
1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり						
(2) 学都・仙台の資源を多面的に生かすまちづくり						
目標	学都・仙台としての知的資源集積を多面的に生かすまちづくりを進め、都市づくりや地域の課題解決、雇用の場の創出、大学等や学生による市民力の発揮につなげます。					
総括	一部で予定を上回る成果を上げた事業があるなど、着実に進捗した。					
個別事業名	①学都推進事業 ②大学連携地域づくり事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	サテライトキャンパス公開講座の受講者数(延べ人数)	平成30年度 2,100人	平成22～26年度 実績 平均2,061人/年	1,866人	2,808人	3,260人
実施計画における年次計画	①学都推進事業					
	H28年度		H29年度		H30年度	
	学都仙台コンソーシアムの活動支援					
	②大学連携地域づくり事業					
H28年度		H29年度		H30年度		
大学連携地域づくり支援・助成実施						
まちづくり同盟活動支援・助成実施						
個別事業内容	個別事業名	H30年度の主な実績				進捗状況
	①学都推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座(全60コマ、受講者数2,242人) ・復興大学公開講座(全30コマ、受講者数1,018人) 				◎
	②大学連携地域づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・加茂地区の「加茂ハッピータウン活動」を地域力向上支援事業における助成事業として選定、大学と連携し高齢者の健康づくりや地域の共助勉強会を行うなどの事業を実施 ・地域課題の解決や特色ある地域づくりに取り組む学生団体を支援(いずみ絆プロジェクト事業)するとともに、当該学生団体間の交流と連携を促進するための意見交換会を実施 				○
主な課題及び今後の対応		<p>【学都推進事業】 引き続き安定した受講者数の確保に向け、講座内容を検討する。 ※過去の実績 H23:2,292人、H24:1,927人、H25:1,896人、H26:2,241人、H27:2,792人</p> <p>【大学連携地域づくり事業】 大学連携地域づくり事業については、加茂地区での取り組み支援を継続するとともに、他の地区においても大学連携による課題解決を図ることができるように地域状況の把握、大学を活用した地域づくりの推進に継続して取り組む。</p>				

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

1. 学びを多彩な活力につなげる都市づくり

(3) 地域と共に育む子どもたちの学ぶ力

目標	家庭・地域・学校や関係機関等が連携し、子供の教育をめぐる問題等への支援体制や確かな学力を育む環境を整えるとともに、子どもたちが学ぶ意義や楽しさを知り、学ぶ喜びを地域で体験できる機会の充実を進めます。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。なお、「いじめ防止対策推進事業」については、平成30年度において「仙台市いじめの防止等に関する条例」を制定したほか、児童支援教諭やいじめ対策支援員の配置拡充、SNSによるいじめ相談窓口の開設など様々な対策を講じたところであるが、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果的ないじめ防止対策の在り方の検討が行われていた時期であることを勘案し、進捗状況の表記は「－」としている。					
個別事業名	①確かな学力育成事業 ②いじめ防止対策推進事業 ③学校教育施設整備事業 ④仙台自分づくり教育推進事業 ⑤放課後子ども総合プラン推進事業 ⑥放課後子ども教室推進事業 ⑦学校支援地域本部事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	標準学力検査(基礎的知識)の正答率が目標値と同等以上の小学校6年生及び中学校3年生の割合	平成30年度 国語78% 算数又は数学72%	平成27年度 国語76.1%/76.7% (小6/中3) 算数・数学 68.5%/67.4% (小6/中3)	国語 72.3%/72.8% (小6/中3) 算数・数学 64.9%/67.2% (小6/中3)	国語 84.0%/86.9% (小6/中3) 算数・数学 59.1%/70.4% (小6/中3)	国語 78.7%/61.8% (小6/中3) 算数・数学 68.9%/67.8% (小6/中3)
	「自分の夢をかなえるために、たくさん勉強する」と思う児童生徒の割合	平成30年度 小6・87% 中3・78%	平成27年度 小6・84.0% 中3・75.6%	小6:84.4% 中3:76.1%	小6:84.9% 中3:78.2%	小6:85.6% 中3:80.9%
	放課後子ども教室参加児童数	平成30年度 64,700人	平成26年度 59,781人	68,782人	71,406人	69,046人
学校支援ボランティア延べ人数	平成30年度 11万人	平成27年度 9万人	97,103人	101,274人	112,254人	

実施計画 における 年次計画	①確かな学力育成事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">新「確かな学力育成プラン」策定</td> </tr> <tr> <td colspan="3">小中学校接続・連携に関する調査研究</td> </tr> <tr> <td colspan="3">標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	新「確かな学力育成プラン」策定			小中学校接続・連携に関する調査研究			標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業					
	H28年度	H29年度	H30年度														
	新「確かな学力育成プラン」策定																
	小中学校接続・連携に関する調査研究																
	標準学力検査等、教科指導エキスパート、学力サポートコーディネーター、家庭学習ノート、小1生活・学習サポート事業																
	②いじめ防止対策推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実</td> </tr> <tr> <td colspan="3">いじめ防止「ぎずな」キャンペーン等の啓発活動の展開</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置			「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実			いじめ防止「ぎずな」キャンペーン等の啓発活動の展開			「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援		
	H28年度	H29年度	H30年度														
全市立中学校等に「いじめ対策専任教諭」等の配置																	
「24時間いじめ相談専用電話」等相談体制の充実																	
いじめ防止「ぎずな」キャンペーン等の啓発活動の展開																	
「いじめ不登校対応支援チーム」等による、いじめ対応支援																	
③学校教育施設整備事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩切小学校増築工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計</td> <td colspan="2">建設工事</td> </tr> <tr> <td>(仮称) 七郷第二小学校・基本設計</td> <td>実施設計</td> <td>建設工事</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	岩切小学校増築工事			(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計	建設工事		(仮称) 七郷第二小学校・基本設計	実施設計	建設工事				
H28年度	H29年度	H30年度															
岩切小学校増築工事																	
(仮称) 広瀬第二中学校・実施設計	建設工事																
(仮称) 七郷第二小学校・基本設計	実施設計	建設工事															
④仙台自分づくり教育推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">「仙台自分づくり教育」事業の展開</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「スチューデントシティ」全小学校実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">「ファイナンスパーク」全中学校実施</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	「仙台自分づくり教育」事業の展開			「スチューデントシティ」全小学校実施			「ファイナンスパーク」全中学校実施						
H28年度	H29年度	H30年度															
「仙台自分づくり教育」事業の展開																	
「スチューデントシティ」全小学校実施																	
「ファイナンスパーク」全中学校実施																	
⑤放課後子ども総合プラン推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">放課後子ども総合プラン運営委員会の開催</td> </tr> <tr> <td colspan="3">サテライト室の整備</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	放課後子ども総合プラン運営委員会の開催			サテライト室の整備									
H28年度	H29年度	H30年度															
放課後子ども総合プラン運営委員会の開催																	
サテライト室の整備																	
⑥放課後子ども教室推進事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">放課後子ども教室推進事業の継続・拡充</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	放課後子ども教室推進事業の継続・拡充												
H28年度	H29年度	H30年度															
放課後子ども教室推進事業の継続・拡充																	
⑦学校支援地域本部事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全中学校区へ本部設置</td> <td colspan="2">本部運営・質の向上</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	全中学校区へ本部設置	本部運営・質の向上											
H28年度	H29年度	H30年度															
全中学校区へ本部設置	本部運営・質の向上																

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①確かな学力育成事業	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力検査(基礎的知識)における正答率が目標値と同等以上の児童生徒の割合が、75%を超えた教科【6教科/28教科】⇒小3(国)、小4(算・理)、小5(国)、小6(国)、中2(国) 標準学力検査(応用力)における正答率が目標値と同等以上の児童生徒の割合が、60%を超えた教科【20教科/28教科】⇒小3(国・算)、小4(国・社・算・理)、小5(社・理)、小6(国・社・理)、中1(国・社・数・理)、中2(国・社・数)、中3(国・社) 「仙台市確かな学力研修委員会」において標準学力検査の結果分析を行い、目標値を下回っている内容を中心に授業改善のための提案授業の公開や指導事例の提案を実施 	△

②いじめ防止対策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台市いじめの防止等に関する条例」を制定 ・SNSによるいじめ相談窓口を新たに開設(相談件数59件) ・校内いじめ事案について教育委員会への定期報告の実施(年4回) ・全市立中学校、仙台青陵中等教育学校及び鶴谷特別支援学校への「いじめ対策専任教諭」の各校1名配置を継続 ・市立小学校への「児童支援教諭」の配置を拡充(17校増) ・市立小学校への「いじめ対策支援員」の配置を拡充(12校増) ・教育相談課内にスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置(スクールソーシャルワーカーは2名増) ・いじめの重大事案や不登校を防止するため、「いじめ不登校対応支援チーム」が全市立学校を巡回 ・「いじめをしない・させない・許さない」という児童生徒の意識向上を図るため、いじめ防止「きずな」キャンペーンを実施 ・「いじめストップ・リーダー研修」を開催(市立中学校・中等教育学校の生徒128名が参加) ・「いじめストップ・リーダー研修」と「いじめ防止『きずな』サミットの様子を収録したDVDを作成、全市立小中学校へ配布 ・いじめ対策担当教諭研修を開催(年4回) ・24時間いじめ相談専用電話の設置継続(相談件数481件) 	—
③学校教育施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・錦ヶ丘中学校※₁建築工事完了 ※₁(仮称)広瀬第二中学校 ・荒井小学校※₂建築工事 ※₂(仮称)七郷第二小学校 ・大野田小学校増築工事 ・大和小学校増改築実施設計 	○
④仙台自分づくり教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内全校の中学生を対象に職場体験活動を実施 ・「仙台自分づくり教育アワード」を開催し、仙台自分づくり教育に長年にわたり貢献された事業所を表彰(特別功労者:5団体、功労者:232団体) ・「たくましく生きる力育成プログラム」のプラン集の改定を実施 ・仙台子ども体験プラザにおける「スチューデントシティ」全小学校実施(参加児童8,579人) ・仙台子ども体験プラザにおける「ファイナンスパーク」全中学校実施(参加生徒7,450人) ・地元プロスポーツ選手やアナウンサー等が講話を行う「自分づくり夢教室」を小学校で実施(90校) ・社会講師による職業講話を中学校で実施(34校) 	○
⑤放課後子ども総合プラン推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども総合プラン運営委員会を4回開催し、「放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携の在り方」について検討 ・放課後児童クラブサテライト室の拡充(7小学校区に7カ所新設) 	○
⑥放課後子ども教室推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室参加児童数(基準年度より9,265人増) 	○
⑦学校支援地域本部事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部組織の拡充(支部6校増、連携校18校増) ・ブックレット「仙台市の学校支援地域本部」増刷 ・スーパーバイザーのスキルアップを目指した研修会を実施(全体で2回、各行政区1回実施) 	○
<p>※「②「いじめ防止対策推進事業」については、平成30年度において「仙台市いじめの防止等に関する条例」を制定したほか、児童支援教諭やいじめ対策支援員の配置拡充、SNSによるいじめ相談窓口の開設など様々な対策を講じたところであるが、いじめ問題等対策調査特別委員会や仙台市いじめ対策等検証専門家会議による施策の検証及び効果のないいじめ防止対策の在り方の検討が行われていた時期であることを勘案し、進捗状況の表記は「—」としている。</p>		

主な課題及び
今後の対応

【確かな学力育成事業】

引き続き、大学と連携して結果分析等を進めるとともに、指導事例の提案や報告書の活用により、授業改善の取り組みを進める。なお、継続的な課題となっている小学校中学年算数や中学校国語については、重点的な授業改善に取り組む。

【いじめ防止対策推進事業】

引き続き、市立中学校生徒の自死事案等の検証を進めるとともにいじめ防止に向けた組織的な対応力の向上を図りつつ、地域や家庭、関係機関との連携を一層強化し、より効果的ないじめ防止対策に取り組む。また、「仙台市いじめ防止等対策検証会議」における検証を踏まえ、必要な改善策について検討を行う。

【仙台自分づくり教育推進事業】

児童生徒の自己肯定感を高めるため各事業を推進・検証するとともに、さらに効果を高めるために各事業を系統的に繋げる方策を検討する。

【放課後子ども総合プラン推進事業】

引き続き本市の実情に応じた効果的な放課後児童クラブの実施等について検討を行うとともに、小学校の余裕教室や民間物件の賃借等、多様な手法を組み合わせながら放課後児童クラブサテライト室の整備を進める。

【放課後子ども教室推進事業】

放課後児童クラブ等、他の事業との連携を推進し、支援者確保や実施環境の整備、関係者とのネットワークづくり等、継続して取り組む。

【学校支援地域本部事業】

支部や連携校の設置を進めるとともに、学校支援の内容の質の向上、スーパーバイザーの育成、中学校区内での学校と地域の連携強化を図る。

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(1) 共生・健康社会づくり

目標	孤立化を防ぐ地域のつながり、障害に対する理解、男女共同参画などの推進を図りながら、互いに尊重し合い、共に生きる地域社会づくりを進めるとともに、生涯を通じた健康づくりなど、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができる仕組みづくりを進めます。					
総括	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業 ②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業 ③市民健康づくり推進事業 ④総合的な介護予防推進事業 ⑤介護サービス基盤整備促進事業 ⑥地域支え合い推進事業 ⑦障害者差別解消 ⑧障害者グループホーム整備促進事業 ⑨障害者福祉センター整備事業 ⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	本市の審議会等における女性委員の割合	平成32年度末で40%以上へ向上	平成26年度末実績36.9%	37.9%	37.5%	37.6%
	定期的に健康診断を受けている人の割合	平成31年度で93.6%へ向上	平成21年度89.1%	79.5%	-	-
	定期的ながん検診を受けている人の割合	平成31年度で下記の数値へ向上 【40歳以上】 胃がん63.8% 肺がん45.9% 大腸がん45.8% 乳がん64.5% 【20歳以上】 子宮頸がん67.0%	平成21年度 【40歳以上】 胃がん42.9% 肺がん32.0% 大腸がん31.9% 乳がん46.1% 【20歳以上】 子宮頸がん40.1%	【40歳以上】 胃がん41.0% 肺がん30.0% 大腸がん35.0% 乳がん53.7% 【20歳以上】 子宮頸がん47.0%	-	-
	自身が「健康である」と感じている高齢者の割合	平成31年度で80%以上に向上	平成25年度 男性75.5% 女性74.5%	76.4%	-	-
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の定員数	平成29年度で4,470人に増加	平成26年度末3,770人	4,508人	4,542人	5,031人
	社会参加活動(町内会やボランティア活動等)をしている高齢者の割合	平成31年度で55%以上へ向上	平成25年調査時50.0%	49.6%	-	-
	障害者グループホームの定員数	平成30年度で1,290人に増加	平成27年度990人	1,073人	1,228人	1,276人
生活介護事業所総定員数	平成30年度で1,065人に増加	平成27年度1,015人	1,062人	1,107人	1,130人	

①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
第四工区（その1）整備		
	第四工区（その2）整備	
中央広場整備		
民間活用用地第二期整備		

②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	男女共同参画せんだいプランに基づく事業の実施	
	プランの実施状況のフォローアップ・公表	

③市民健康づくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	市民健康診査実施	
	重症化予防の取り組み等	
第2期いきいき市民健康 プラン前期評価に向けた 調査・検討	プランの中間評価 後期計画策定	プランの後期計画～

④総合的な介護予防推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	相談・支援事業	
	介護予防に関する普及啓発	
二次予防対策者把握事業	介護予防把握事業	
元気高齢者・生活機能低下高齢者向け事業	「新しい総合事業」における介護予防事業	
モデル事業		

⑤介護サービス基盤整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づく 介護サービス基盤の整備		第7期高齢者保健福祉計画・ 介護保険事業計画に基づく 介護サービス基盤の整備

⑥地域支え合い推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
「新しい総合事業」検討	「新しい総合事業」実施	
モデル事業		
地域包括支援センター機能強化（専任職員配置（50センター））		

⑦障害者差別解消

H28年度	H29年度	H30年度
	独自条例施行	
集中的な周知・啓発		
普及啓発・交流のための事業の実施		
相談体制の整備・紛争解決のための調整機関の設置		
意思疎通支援の拡充		

⑧障害者グループホーム整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
補助金交付による新規開設の促進		
新規開設のノウハウ普及を目的とした研修会		
保護者会等を対象とした研修会		
整備促進を目的としたネットワーク会議		
医療的ケア対応グループホーム等の運営費に対する補助		

⑨障害者福祉センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) 青葉障害者福祉センター整備に向けた調査・検討	基本設計・実施設計	

⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
新事業所整備工事	新事業所選定	補助協議
既存事業所改修設計	改修工事	新事業所整備工事

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備事業	・民間活用用地第二期 事業者提案施設に係る提案者との調整	○
②男女共同参画の視点によるまちづくり推進事業	・仙台市男女共同参画推進センターにおける学習・研修事業、市民活動団体の協働事業、活動スペースの提供、情報提供等を実施 ・仙台市配偶者暴力相談支援センター事業を実施(電話・面接計2,287件、市民向け講座3回参加者数計187人) ・防災・復興まちづくりへの女性参画促進に向けた人材育成プログラム「決める・動く2018」を実施(参加者数20人) ・「仙台防災未来フォーラム2019」で女性を含めた多様な主体が参画する防災まちづくりをテーマとしたワークショップを実施(参加者数33人) ・男性向け啓発セミナー・ワークショップを実施(計2回)	○
③市民健康づくり推進事業	・基礎健診受診者数(35-39歳、75歳以上等):41,057人 ・20歳のデンタルケア受診者数:788人 ・歯周病検診受診者数(30、40、50、60、70歳):6,925人 ・食で健康サポート店登録店舗:67件 ・受動喫煙防止宣言施設:615施設	△
④総合的な介護予防推進事業	・11月の介護予防月間において普及啓発イベントを開催(参加者数延べ5,492人) ・介護予防が必要な方を把握するため、70歳、75歳、80歳の方へ郵送で調査を実施(6,522人を把握) ・元気応援教室開催(参加者延べ250人) ・地域包括支援センターでの介護予防教室(参加者数延べ15,839人) ・自主的に介護予防に取り組むグループの育成(新規団体14グループ)、担い手育成を図る研修開催(6カ所)、担い手の技術向上を図る研修開催(7カ所) ・シニア世代向け健康づくり講座事業を実施(6カ所、活動継続6団体) ・シニア世代向け介護予防栄養講座を開催(参加者数延べ553人) ・地域リハビリテーション活動支援事業として、リハビリテーション専門職を地域のサロン等に派遣(88団体)	○
⑤介護サービス基盤整備促進事業	・平成30年度選定済み施設(< >内は第7期(H30~R2)整備計画数) 特別養護老人ホーム 7施設489床 <850床> 特定施設入居者生活介護 1施設105床<300床> 認知症対応型共同生活介護 3施設54床<180床> 小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護 4事業所 <12事業所> ・緊急用ショートステイベッドとして、市内2施設に計2床の専用ベッドを確保(利用日数228日、稼働率31.23%)	◎
⑥地域支え合い推進事業	・住民主体による訪問型生活支援モデル事業実施団体への補助(8団体) ・ひとり暮らし高齢者緊急通報システムの設置(設置台数3,768台/うち新規611台) ・民間企業等との高齢者の見守り協定締結(締結先5件/継続) ・在宅医療・介護連携相談窓口を新たに開設 ・地域ケア会議開催(区主催32回、地域包括支援センター主催306回)	○

個別事業内容

⑦障害者差別解消	<ul style="list-style-type: none"> ・各区障害高齢課及び宮城総合支所保健福祉課の相談員による相談受付(受付件数75件) ・仙台市差別解消・虐待防止連絡協議会を開催し、関係団体(29機関)の連携を促進(計2回) ・障害理解・啓発に係るワークショップ「ココロン・カフェ」を開催(計6回参加者数延べ102人) ・「ウエルフェア記念式典」において障害者スポーツに関する講演会を開催(100人) ・2020東京パラリンピックに向けたスポーツ体験交流会を開催(137人) ・市民協働による障害理解促進PR事業(計5回延べ650人) ・障害理解サポーター養成研修の実施(講師派遣16回/講師養成研修5回) ・各区障害高齢課窓口等においてヘルプマークの配布開始 ・手話通訳等のコミュニケーション支援(通訳派遣件数延べ1,184件) 	○
⑧障害者グループホーム整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム新規開設事業者に対して、消防設備の設置費用や建築基準法の用途変更に伴う改修費用を助成(助成件数計5件、計5,100千円) ・グループホーム運営法人による自主団体「仙台市グループホーム連絡会」の設立 ・「仙台市グループホーム連絡会」が実施するグループホームの開設・運営に関する研修等に係る費用の助成(年間300千円) ・医療的ケア対応型グループホームの運営費を助成(1件4,326千円) 	○
⑨障害者福祉センター整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)青葉障害者福祉センター整備に向けた調査検討を実施(旭ヶ丘駅前複合施設整備に向けた調査検討として一体的に実施) 	△
⑩障害福祉サービス事業所整備促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所の総定員数を23人拡充(定員増4カ所) ・市有地の無償貸与と施設整備費の補助による生活介護事業所の新規開設(1件) 	○
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【市民健康づくり推進事業】 生活習慣病を予防し、健康寿命を延伸するために、食事・運動・休養といった、市民が健康づくりに取り組みやすい環境を整備していく。また協定企業と連携し、健康づくりや健診受診勧奨を広く啓発する。</p> <p>【総合的な介護予防推進事業】 引き続き介護予防の啓発を図り、関係機関と連携しながら地域の多様な通いの場の立ち上げ支援及び担い手の育成を図る。また、介護予防自主グループへのアンケート結果をもとに、活動継続のための効果的な支援を検討する。</p> <p>【地域支え合い推進事業】 モデル事業として実施してきた住民主体による訪問型生活支援事業実施団体への補助を本格実施し、担い手の育成とあわせて住民主体による生活支援活動の充実を図る。また、地域ケア会議や研修の実施等を通じて、医療・介護分野をはじめとする専門職や行政、地域包括支援センター等の関係機関の連携強化を図っていく。</p> <p>【障害者差別解消】 市民への障害理解に関しては、障害理解サポーター事業の本格実施やココロン・カフェの継続に加え、東京パラリンピック関連の市民向けイベント等を通して、より一層の普及・啓発を図る。障害者差別に関する個別相談については、関係機関と連携を図りながら、各区等の相談員等による対応を着実に進める。</p> <p>【障害者グループホーム整備促進事業】 グループホーム利用者に必要かつ十分な支援を提供することができる人員体制確保が可能となる報酬単価を設定するよう、引き続き国に要望していく。また、引き続き新規開設時の助成を通じて整備促進を図っていく。仙台市グループホーム連絡会と連携し、研修会の実施等を通じてグループホームの整備促進や支援の質の向上を図っていく。</p> <p>【障害者福祉センター整備事業】 既存の障害者福祉センターのあり方を踏まえ、施設に必要な役割・機能の整理を行う。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(2) 子育て応援社会づくり

目標	出産・子育ての希望をかなえることができる環境を整えるとともに、子どもたちが遊びや多様な体験を通じてたくましく健やかに成長できる機会をつくるなど、地域社会全体で子育て家庭と子どもたちの成長を支える取り組みを進めます。					
総括	一部で予定を上回る成果を上げた事業があるなど、着実に進捗した。					
個別事業名	①児童館整備事業 ②幼稚園の保育機能拡充支援事業 ③保育基盤整備推進事業 ④多様な保育サービスの充実 ⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業 ⑥妊娠・出産包括支援事業 ⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業 ⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業 ⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業 ⑩保育所による地域子育て支援事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	幼稚園預かり保育利用者数(延べ人数)	平成30年度で475,433人へ増加	平成27年度462,995人	496,827人	505,981人	535,028人
	保育施設等の利用定員数	平成31年度当初で19,927人へ増加	平成28年度当初18,295人	平成29年度当初19,339人	平成30年度当初19,971人	平成31年度当初20,456人
	保育所等の延長保育利用者数	平成30年度で4,655人に増加	平成27年度4,433人	5,234人	5,142人	5,496人
	乳幼児健康診査の受診率	平成30年度で平成25年度実績より増加	平成25年度 3～5か月児94.8% 1歳6か月児96.1% 3歳児91.9%	3～5か月児95.9% 1歳6か月児96.9% 3歳児93.9%	3～5か月児95.6% 1歳6か月児98.2% 3歳児93.5%	3～5か月児95.3% 1歳6か月児98.3% 3歳児95.7%
	のびすく若林来館者数	平成30年度で27,000人	平成29年度開館	開館に向けて準備	16,978人 (10月開館)	30,529人
保育所における地域子育て支援事業利用者数	平成30年度で平成27年度水準を維持	平成27年度125,545人	137,144人	141,852人	141,159人	

実施計画
における
年次計画

① 児童館整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) 東宮城野マイスクール 児童館整備工事		
若林区中央児童館改築工事	西多賀児童館改築工事	
落合児童館改築工事		
(仮称) 七郷第二児童館 基本設計	実施設計	建設工事

② 幼稚園の保育機能拡充支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
認定こども園運営及び幼稚園預かり保育事業への助成		

③ 保育基盤整備推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
保育施設等整備		

④ 多様な保育サービスの充実

H28年度	H29年度	H30年度
延長保育、一時預かり、休日保育の実施		

⑤ 家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
若林区保育所併設型病後児保育施設開所・事業開始 ※平成28年度～29年度に病児保育事業開始		
すくすくサポート事業		

⑥ 妊娠・出産包括支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
母子保健総合相談体制の強化		
母子保健に係る他機関との連携強化		

⑦ 企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
啓発セミナー開催・リーフレット配布等		

⑧ 子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
(仮称) のびすく若林整備		開館・事業開始
子育て支援団体相互交流会開催・子育て支援者向け情報提供		

⑨ 保育サービス相談員の配置による利用者支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
保育サービス相談員による情報提供・相談支援及び効果検証		

⑩ 保育所による地域子育て支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
各保育所における相談指導・講座の実施		

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①児童館整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・西多賀児童館改築工事を実施(H30年11月開館) ・(仮称)七郷第二児童館新築工事を実施 ・東二番丁マイスクール児童館整備工事を実施(H31年4月開館) ・将監地域複合施設基本設計を実施 ・大規模修繕工事を実施(大沢児童館、茂庭台児童館) ・大規模修繕設計を実施(若林児童館、幸町児童館、川前児童館) 	○
②幼稚園の保育機能拡充支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての私立幼稚園(79園)で預かり保育を実施 ・保育所と同等の11時間以上の預かり保育を実施する私立幼稚園数(7園増) 	◎
③保育基盤整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所の整備(施設数4カ所、定員292人) ・認可保育所から認定こども園への移行(施設数8カ所、定員850人) ・認定こども園の整備(施設数1カ所、定員78人) ・小規模保育事業(A型・B型・C型)の推進(事業数8カ所増、定員114人増) ・家庭的保育事業の推進(事業数2カ所減、定員7人減) ・事業所内保育事業の推進(事業数3カ所増、定員18人増) 	○
④多様な保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・延長保育(2時間以上)を実施する保育所数(8カ所増) ・一時預かり実施保育所数(4カ所減) ※一時預かりについては、対応する保育士が不足したことなどから減少となった。	◎
⑤家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市内6カ所の病児・病後児保育事業実施施設を継続運営 ・すくすくサポート事業を実施(利用会員数2,867人、協力会員数484人、両方会員数122人、活動回数10,739回) ※H30年度より、国の制度改正を考慮し、活動回数のカウント方法を変更(活動タイプの細分化)	○
⑥妊娠・出産包括支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談の専任職員(母子保健コーディネーター)を引き続き各区及び総合支所に1人ずつ配置し、母子保健に係る相談体制の強化を図っている(研修2回) ・低出生体重児の発達や生育に関する専門的な相談を受ける、保護者向けの育児相談会を開催(4回) ・「せんだい妊娠ほっとライン」の設置継続(相談件数285件) ・助産師が産後の相談に応じる「助産師サロン」の開始(計30回/277組参加) ・産後ケア事業の開始(25組利用/デイサービス型延べ31日、宿泊型延べ62日) ・産婦健康診査事業の開始(延べ2,111件) 	○
⑦企業等に対する仕事と家庭の両立支援推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催(延べ113人参加) ・産休・育休等の両立支援制度や企業が活用できる補助金等の情報をまとめたリーフレットを引き続き作成し、母子健康手帳交付時に配布 	○
⑧子育てふれあいプラザ(のびすく)整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・のびすく若林の運営(30,529人利用) ・「せんだい子育て支援者ネットワーク交流会2018」を開催 	◎
⑨保育サービス相談員の配置による利用者支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口・電話での相談(窓口6,390件、電話2,037件) ・子育て支援拠点等での出張相談会の開催(開催件数212件/個別相談者数1,021件) 	○
⑩保育所による地域子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における子育て家庭との交流(親子の集い、自由来所、行事の開放、体験保育等への参加者101,244人) ・子育て等に関する相談、援助(相談件数28,092件) ・区役所、市民センター、近隣の保育所、児童館等へ、子育て支援センターに関する情報や地域の保育資源の情報などを提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施(8,452人参加) ・訪問型子育て支援事業を実施(6カ所/相談件数3,371件) 	◎

個別事業内容

主な課題及び
今後の対応

【幼稚園の保育機能拡充支援事業】

預かり保育に対する助成制度(連携施設設定加算)の活用を促し、保育所と同等の11時間以上の預かり保育を行う私立幼稚園を増加させるとともに、小規模保育事業等との連携(小規模保育事業等卒園後の受け皿)を促進する。

【保育基盤整備推進事業】

待機児童解消を目指し、保育需要の多い地域を中心に保育基盤の整備を進める。設置が進んでいる企業主導型保育事業の周知・広報に努め、利用の促進を図る。また、3歳未満児を対象としている小規模保育事業、家庭的保育事業等については、卒園後の受け皿となる幼稚園・認定こども園・認可保育所等とのマッチングなど支援を行い、利用者の増加を図る。

【多様な保育サービスの充実】

保護者の就労形態の多様化等に対応した保育サービスを提供するため、延長保育、一時預かり、休日保育の充実を図る。

【家庭に対する仕事と子育ての両立支援事業】

病児・病後児保育については、実施施設と連携し、関係医療機関・子育て施設等に対してさらなる事業周知に取り組む。すくすくサポート事業については、協力会員募集に特化した広報等により一層の周知を図る。

【妊娠・出産包括支援事業】

産後に育児の不安を抱える方や育児のサポートが得られない方に対し、不安や困りごとを軽減するための支援を引き続き実施する。

【保育サービス相談員の配置による利用者支援事業】

利用待機となっている保護者に対し、よりきめ細やかな情報提供や相談支援が実施できるよう、子育て支援拠点等での出張相談会の拡充を目指す。

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

2. 地域で支え合う心豊かな社会づくり

(3) 安全で安心な市民の暮らしを支える取り組み

目標	震災の教訓を踏まえた災害に強い都市づくりや、危機管理体制の充実を図るとともに、犯罪や交通事故などの地域課題に対応し、安全で安心な市民生活を守るための対策を推進します。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①水道施設災害対策事業 ②下水道地震対策事業 ③都市ガス防災対策強化事業 ④下水道総合浸水対策事業 ⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業 ⑥消防団強化緊急事業 ⑦防災意識の普及啓発強化事業 ⑧地域防災リーダー養成・支援事業 ⑨仙台版防災教育推進事業 ⑩地域安全対策事業 ⑪児童生徒の安全確保事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	水道管の耐震化率 <small>水道管の耐震化率＝耐震性を有する水道管路(※1)の延長/水道管路の総延長×100 ※1:材質や継手の強度等により、一定の耐震性を有すると評価できる水道管路</small>	平成30年度末で 87.9%以上へ向上	平成26年度末 86.5%	86.8%	87.2%	87.6%
	下水道管の耐震化率 <small>下水道管の耐震化率＝耐震性を有する下水道管きよの延長/特に優先的に耐震化を必要とする下水道管きよの延長×100</small>	平成30年度末で 37.7%以上へ向上	平成26年度末 33.8%	36.6%	38.1%	39.9%
	ガス導管の耐震化率 <small>ガス導管の耐震化率＝耐震性を有するガス導管の延長/ガス導管の総延長×100</small>	平成32年度末で 87.7%以上へ向上	平成26年度末 84.6%	85.5%	85.8%	86.2%
	10年確率降雨対応整備面積普及率	平成30年度末で 35.7%以上へ向上	平成26年度末 33.5%	34.3%	34.7%	35.5%
	仙台市地域防災リーダー人数	平成30年度で 600人を維持	平成27年度 584人	594人	599人	654人
	特殊詐欺の発生件数	平成32年中で 160件以下に減少	平成27年 219件	159件	212件	139件
子どもを対象とした声かけ事案等の発生件数	平成32年中で 190件以下に減少	平成27年 251件	287件	341件	415件	
学校ボランティア防犯巡視員登録者数(延べ人数)	平成30年度で 6,150人以上を確保	平成27年度末 6,049人	6,140人	5,695人	5,798人	

①水道施設災害対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
浄水場・配水池等の基幹施設の耐震化		
老朽化した送配水管路の更新・配水幹線等の整備		
広域水道の単独配水区域への送水施設整備		
災害時給水施設の設置		

②下水道地震対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
管きよの耐震化（設計・工事）		
浄化センター・ポンプ場の耐震化（設計・工事）		

③都市ガス防災対策強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
経年管入替工事		

④下水道総合浸水対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
雨水施設の整備（設計・工事）		
土のう配布、止水板設置費補助		
		浸水想定区域図改訂

⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
災害時情報発信システム整備	運用	
研修・訓練プログラム作成	プログラムによる研修・訓練の実施	
災害情報センター運用		
防災行政用無線整備		

⑥消防団強化緊急事業

H28年度	H29年度	H30年度
無線通信機器の配備	職務報酬・運営補助金見直し	
安全装備等（活動服・救命胴衣・防火衣）の充実強化		
教育訓練の充実強化		

⑦防災意識の普及啓発強化事業

H28年度	H29年度	H30年度
水害・土砂災害ハザードマップの見直し		
土砂災害警戒区域の指定地域に対する説明会開催		
浸水想定区域に対する説明会開催		

⑧地域防災リーダー養成・支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
SBL新規養成		
SBLの活動支援（バックアップ講習会の実施等）		

⑨仙台版防災教育推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
研究推進取組発表校の事例実践		
研究開発学校における実践		
防災教育副読本の改訂・活用		




⑩地域安全対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
安全安心街づくり基本計画に基づく施策の実施		

⑪児童生徒の安全確保事業

H28年度	H29年度	H30年度
学校防犯巡視員による巡視		
学校ボランティア防犯巡視員による巡視		
インターネット巡視員によるインターネット巡視		

個別事業内容	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
	①水道施設災害対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 水道管路の耐震化を実施(配水支管更新27.3km) 配水経路の多系統化や水道水の相互融通機能の充実を図るため、主要な配水経路同士をつなぐ配水幹線整備を実施 坪沼配水所系へ中原浄水場からの送水を可能とする送水管(全6.7km)を整備(平成30年度は1.3km整備) 指定避難所である市立学校に災害時給水栓を設置(総設置数112校(平成30年度は錦ヶ丘中学校ほか8校に設置)) 	△
	②下水道地震対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 管路施設の耐震化を実施(5地区) ポンプ場の耐震化を実施(1施設) 	△
	③都市ガス防災対策強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 耐震性に優れたポリエチレン管等への入れ替え工事を実施(入替発注延長数12.2km) 防災ブロックが確実に機能するよう、供給設備の定期点検に加え自主点検を実施(バルブ点検数2,690基) 	△
	④下水道総合浸水対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 浸水対策施設の整備(継続:若林三丁目地内浸水被害軽減施設ほか) 復興交付金事業を活用した浸水対策施設の整備(H30年度完成:荒井東雨水ポンプ場、継続:原町東部雨水幹線建設、鶴巻ポンプ場増設) 土のうステーション設置による自助・共助の支援及び止水板等設置工事費補助制度の拡充 	○
	⑤災害対策本部等情報連絡体制等強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市災害時情報発信システムを改修 各局区における研修・訓練実施計画に基づいた研修訓練の実施及び職員向けeラーニングの実施 福祉避難所等に防災行政用無線を整備(5基) 	○
	⑥消防団強化緊急事業	<ul style="list-style-type: none"> 救命胴衣の配備(301着)、防火衣の更新(111着) 消防学校への入校(基礎教育:93名、幹部教育20名、特別教育6名、専科教育7名入校) 	○
	⑦防災意識の普及啓発強化事業	<ul style="list-style-type: none"> 増田川及び砂押川の洪水浸水想定区域が公表されたことに伴い、せんだいくらしのマップ及び防災タウンページのハザードマップを更新 防災タウンページを市内全戸、全事業者へ配布 西日本豪雨の発災に対応し、市内において大雨時の避難行動に関する説明会を実施 防災重点ため池ハザードマップの公開に伴い農林土木課が開催した住民説明会に参加し、避難行動について周知 	○
	⑧地域防災リーダー養成・支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市地域防災リーダー(SBL)の新規養成(102人) SBLを対象としたバックアップ講習会を実施(343人) 町内会等とSBLの連携強化を目的とした各区のバックアップ講習会を実施(320人) 	○

<p>⑨仙台版防災教育推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台版防災教育研究推進取組発表校を27校指定し、研究推進取組発表校発表会を1月に開催 ・「仙台版防災教育実践ガイド」の改訂版及び「授業実践例」を作成し、市内全小中学校に配布 	
<p>⑩地域安全対策事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯活動団体への助成件数(14件) ・歩くボランティア新規登録者数(107人) ・防犯出前講座(106回延べ2,745人参加) ・防犯カメラ設置助成(設置台数21台、補助額588万円) ・空き家の所有者等への助言・指導(363件) ・歩行喫煙等防止の街頭啓発キャンペーン(13回) 	
<p>⑪児童生徒の安全確保事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官OB27名を学校防犯巡視員「仙台・まもらいだー」として委嘱し、校地内外の巡視活動を実施(1人あたり6～8校の学校を担当し、1日5時間、週3日程度の活動) ・仙台市立小中学校のPTA、地域住民、防犯協会及び町内会等に呼びかけを行い、学校ボランティア防犯巡視員として5,798人を登録し、登下校時間帯を中心とした巡視活動を実施 	
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【水道施設災害対策事業】 更新需要の増大に伴い、財政面の課題に加え、受注業者のマンパワー不足が課題となっている。施設の再編や統廃合等も含めた将来計画の立案により、経費削減と工事の効率化を図りながら、引き続き耐震性を有する水道管への更新工事を推進する。</p> <p>【下水道地震対策事業】 下水道管の耐震化が計画通りに進捗しているのに対し、ポンプ場等の施設の耐震化工事は入札不調が続いたことから進捗が遅れた。工事が小規模のため入札不調が続いたと考えられることから、別工種工事と併せて発注し、入札不調の対応を図る。</p> <p>【地域防災リーダー養成・支援事業】 新規養成を今後も継続するとともに(平成31年度は100名養成予定)、現在活動中のSBLの活動支援事業も併せて行う。課題となっている女性や若い世代の防災リーダーの確保につなげるため、連合町内会長等への呼びかけや一般公募の審査基準の見直しを検討する。</p> <p>【地域安全対策事業】 手口が多様化する特殊詐欺への対策や子どもが被害者となる犯罪の抑制に向けて、引き続き関係団体と連携した施策を着実に推進する。</p> <p>【児童生徒の安全確保事業】 学校ボランティア防犯巡視員の登録人数の増員に向けて、PTAや町内会等への呼びかけを強化する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(1) 低炭素・資源循環都市づくり

目標	都市基盤・都市構造や市民生活・経済活動の中に低炭素化や資源循環、災害時におけるエネルギー確保の仕組みが備わった都市づくりと、これを支える人づくりを進めます。					
総括	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①低炭素都市づくり推進事業 ②エネルギー自律型システム推進事業 ③コミュニティサイクル事業 ④ごみ減量・リサイクル推進事業 ⑤せんだいE-Action推進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	温室効果ガス排出量	平成32年度に平成22年度比で0.8%以上削減(7,640千t-CO ₂ /年以下)	平成22年度7,705千t-CO ₂ /年	平成27年度確定値8,396千t-CO ₂ /年 <small>※平成28年度の確定値は平成31年度に集計が完了するため、平成27年度の値で評価する</small>	平成28年度確定値8,632千t-CO ₂ /年 <small>※平成29年度の確定値は平成32年度に集計が完了するため、平成28年度の値で評価する</small>	平成29年度速報値8,214千t-CO ₂ /年 <small>※平成30年度の確定値は平成33年度に集計が完了するため、平成29年度の値で評価する</small>
	民間防災拠点への再生可能エネルギー設備導入件数	平成28～30年度で合計3件以上	平成27年度実績1件	4件	1件	3件
	創エネルギー導入促進助成制度による指定件数	平成28～30年度で合計3件以上	平成27年11月制度創設	1件	0件	0件
	家庭用エネファーム・エコウィルの設置台数	平成28～30年度で合計1,000台以上	平成27年度174台	174台	175台	132台
	業務用GHP・ガス吸収式冷温水発生機・コージェネレーションシステムの導入実績(設備能力)	平成28～30年度で合計36,800kW以上(GHP・ガス吸収式冷温水発生機36,000kW、コージェネレーションシステム800kW)	平成27年度13,802kW	13,538kW	8,317kw	27,228kw
	コミュニティサイクル1日あたり平均回転数	平成30年度で現状以上を維持	平成26年度実績1.33	1.94	1.61	1.87
	ごみ総量	平成32年度で360,000t/年以下に減少	平成26年度385,863t/年	376,033t/年	377,595t/年	370,566t/年
	燃やすごみの量	平成32年度で305,000t/年以下に減少	平成26年度実績333,424t/年	325,903t/年	328,502t/年	322,515t/年
	リサイクル率	平成32年度で35%以上に増加	平成26年度実績29.9%	29.3%	28.9%	29.0%
	1人1日あたりの家庭ごみの量	平成32年度で450g以下に減少	平成26年度実績489g	467g	469g	462g
「せんだいE-Action」啓発イベント及び3E推進企画毎年度参加者数	平成30年度で3,000人以上に増加	平成27年度1,827人	1,650人	5,454人	5,795人	

実施計画
における
年次計画

①低炭素都市づくり推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
自然環境保全、都市機能集約・最適化、分散型エネルギー活用等		
環境負荷の小さい交通手段の利用促進		
熱エネルギー有効活用補助金等による省エネ・創エネ・蓄エネの普及拡大		
気候変動影響リスクの低減に向けた情報収集・共有・提供・熱環境改善等		
環境負荷低減の「見える化」、キャンペーン、教育等		
仙台市役所の省エネ・創エネ・蓄エネ化推進		

②エネルギー自律型システム推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
民間事業者と連携したエネルギーマネジメントの取り組み推進		
事業者等への助成による分散型エネルギーの創出、研究開発・実証実験施設の立地促進		
田子西・荒井東のエコモデルタウン事業運用状況の検証・横展開モデルの検討		
防災拠点への再生可能エネルギー設備等導入促進		
次世代エネルギー市民向けイベントの開催		
家庭用のエネファーム・エコウィルの普及促進		
業務用GHPやガス吸収式冷温水発生機、コージェネレーションシステムの普及促進		
市有建築物への都市ガス普及施策の実施		

③コミュニティサイクル事業

H28年度	H29年度	H30年度
コミュニティサイクルの運営		

④ごみ減量・リサイクル推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
市民・事業者に対するごみ減量・リサイクルの広報啓発		
ごみ減量・リサイクル施策の推進・拡充		

⑤せんだいE-Action推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
3E推進地区の拡大		
イベント開催		

個別事業
内容

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①低炭素都市づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 市役所への次世代自動車EV・PHV2台導入(1.15(t-CO₂/年)削減) 熱エネルギー有効活用機器等導入補助(527件、219.2(t-CO₂/年)削減) 低炭素ボイラーへの転換補助(ボイラー11基、327.0(t-CO₂/年)削減) せんだい環境学習館たまきさんサロンにおける環境学習の支援等(利用者数8,114人、環境学習プログラム受講件数140件) 公共施設へのLED照明の導入(2施設、137.5(t-CO₂/年)削減) 	△
②エネルギー自律型システム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 民間防災拠点への再生可能エネルギー設備等の導入(3カ所) エコモデルタウン導入設備について地域住民の理解促進を図るため、避難訓練等にあわせて啓発を実施 エコモデルタウン事業運用状況の実績評価及び事業者への提言を実施 	○
③コミュニティサイクル事業	<ul style="list-style-type: none"> 自転車ポート数(17カ所増、計71カ所) 自転車数(235台増、計550台) 年間利用回数(284,670回) 	◎

<p>④ごみ減量・リサイクル推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・転入者や外国人を対象としたごみ分別の啓発強化(年2回キャンペーン実施、多言語DVDの配布) ・家庭系剪定枝の資源化モデル事業(9～11月:資源化量58t) ・コーティング加工紙製容器包装資源化モデル事業(9～3月:回収量1,563kg) ・食品ロス削減セミナー(3回) ・フードドライブ(10～11月:470kg) ・大規模多量排出事業者への立入調査は下記の訪問指導と併せて実施 ・清掃工場における事業ごみ搬入物検査(1,982件)及び適正排出訪問指導(1,255件) ・事業系生ごみ処理機補助(新規1件) 	<p style="text-align: center;">○</p>
<p>⑤せんだいE-Action推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緑のカーテンの普及や打ち水イベント等の開催、大規模イベントへのブース出展による啓発(イベント参加者数5,422人) ・伊達な節電所キャンペーンを実施(参加者数373人、総節電量718,718kWh) ・環境ウェブサイト「たまきさん」の運営(アクセス数104,639件) 	<p style="text-align: center;">◎</p>
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【低炭素都市づくり推進事業】 市民・事業者・行政の協働による取り組みを推進するとともに、「本市における地球温暖化対策のあり方」に関する環境審議会答申を踏まえ、地球温暖化対策を推進するための条例の制定及び事業活動からの温室効果ガス排出量削減を目指す「(仮称)温室効果ガス削減アクションプログラム」の導入に向けた検討を進める。</p> <p>【エネルギー自律型システム推進事業】 民間防災拠点への再生可能エネルギー設備等導入に向けて、さらに積極的に周知を進めるとともに、導入済みの施設においては地域防災拠点として地域住民への浸透を図る。また、創エネルギー導入促進助成制度については、事業者ヒアリングを実施し制度活用に向けた掘り起こしを行う。エネファームやエコウィルといった家庭用ガスコージェネレーションシステムについては、設置台数の拡大を図るためハウスメーカー等への働きかけをより推進し、業務用GHP等についてはメリットを訴求した提案営業を行うとともに設置施設へのアフターフォローにも注力する。</p> <p>【コミュニティサイクル事業】 新規ポート拡大のため、引き続き民間企業や店舗(コンビニ)等に対してポート設置の協力を求めるとともに、自転車利用者へのルール・マナー周知にも努める。</p> <p>【ごみ減量・リサイクル推進事業】 引き続き「WAKE UP(ワケアップ)!!仙台」キャンペーンを展開し、市民・事業者に対して啓発するほか、H30年度にモデル事業として実施した家庭系剪定枝やコーティング加工された紙製容器の資源化を継続して実施する。事業ごみについては、適正排出指導や事業系生ごみ処理機の購入補助等の事業を引き続き推進する。</p>	

重点事業 自己評価シート

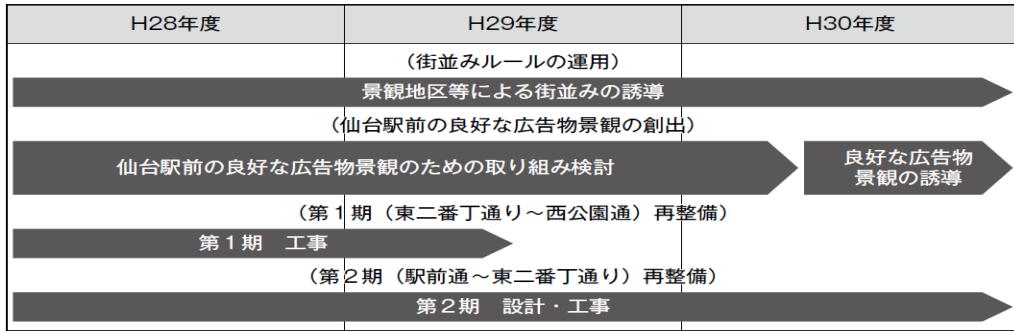
I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(2) 自然と調和した杜の都の都市個性を高める土地利用の推進

目標	杜の都にふさわしい都市景観の整備や公共施設をはじめとする身近な空間の緑を育み、自然環境と都市機能が調和した土地利用の推進を図ります。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①市民連携農業推進事業 ②都市緑化推進事業 ③市街地みどりの回廊づくり事業 ④青葉通再整備事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	レクリエーション農園設置数	平成30年度末で45農園以上に増加	平成27年度39農園	38農園	39農園	42農園
	学童農園開設数	平成30年度末で82農園以上に増加	平成27年度79農園	80農園	76農園	79農園
	みどりの総量(緑被率)	平成31年度で平成26年度比維持・向上	平成26年度79.3%	-	-	-
実施計画における年次計画	①市民連携農業推進事業					
		H28年度	H29年度	H30年度		
		レクリエーション農園新設時補助(既設修繕補助併用)、利用促進広報				
		学童農園設置者に対する助成、学校等への活用促進				
		収穫まつり開催				
		農あるふるさとづくり支援				
	②都市緑化推進事業					
		H28年度	H29年度	H30年度		
		街路緑化の実施				
		泉中央駅前花壇等における花の修景				
		民有地緑化助成(生垣・緑化木・花壇・花いっぱい・記念樹)				
	③市街地みどりの回廊づくり事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	青葉通等における街路樹の補植・改植					
	仙台駅前ペDESTリアンデッキ・定禅寺通緑地における花の修景					
	民有地緑化助成(建築物緑化・街かど緑化)					
	西公園再整備					

④青葉通再整備事業



個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況	
個別事業内容	①市民連携農業推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学童農園事業について事業協力農園への入園料補助の実施(79農園、小・中学校、幼稚園、保育園69校で実施) ・農業園芸センターみどりの杜収穫まつりの開催(来場者数12,042人) ・農あるふるさとづくり支援事業の実施(補助事業採択件数2件) 	△
	②都市緑化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・生垣づくり助成の実施(106件、1,268m、12m/件) ・緑化木植栽助成の実施(7件) ・花壇づくり助成の実施(278件、18,540㎡、67㎡/件) ・花いっぱいまちづくり助成の実施(7件、834㎡、119㎡/件) ・記念樹交付の実施(2,731件) 	○
	③市街地みどりの回廊づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・花の修景の実施(仙台駅前ペDESTリアンデッキ・定禅寺通緑地) ・西公園再整備工事の実施 	○
	④青葉通再整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉通まちづくり協議会において「青葉通まちづくりビジョン」をとりまとめ、市長に提言 ・青葉祭りにあわせてオープンカフェを実施 ・街並み形成ガイドラインにもとづく良好な景観の誘導(景観認定申請は8件) ・第2期再整備(駅前通～東二番丁通:延長約0.5km)については、仙台駅周辺の土地利用の動向を注視している状況 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【市民連携農業推進事業】 新たなレクリエーション農園や学童農園の設置に向け、農業者や各学校等へ事業周知を行うほか、様々な地産地消・食育の事業実施を通じて、農との触れ合い等に関する市民や事業者等の理解増進に努める。</p> <p>【都市緑化推進事業】 街路緑化や花による緑化事業を継続的に実施するとともに、緑化助成制度の周知・啓発を強化し、民有地緑化を促進する。</p> <p>【市街地みどりの回廊づくり事業】 都心部における緑化空間の緑の質と量の向上に向け、街路緑化や緑化助成制度による民有地緑化を促進するとともに、西公園についても再整備工事を進める。</p> <p>【青葉通再整備事業】 第2期再整備については、仙台駅周辺の土地利用の動き等を踏まえながら整備計画の検討を行う。また、青葉通まちづくり協議会の取り組みについて、引き続き必要な支援を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(3) 機能集約と地域再生による持続的な発展を支える都市構造の形成

目標	土地利用と交通政策の一体的推進などにより、機能集約型市街地の形成を図るとともに、地域の特性や課題に応じた生活環境の改善に向けた取り組みを進めます。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①機能集約型まちづくり推進事業 ②道路空間利活用推進事業 ③ストック活用型都市再生推進事業 ④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業 ⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業 ⑥まち再生・まち育て活動支援事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	地下鉄沿線区域の夜間人口	平成32年度で平成27年度比増加	平成27年度 35.2万人	35.5万人	35.7万人	36.1万人
	リノベーションスクールにおける民間不動産の対象物件数	平成29年度末で5件以上に増加	平成27年度末 0件	5件	1件	0件
	リノベーションスクールにおける公共空間の対象物件数	平成29年度末で2件以上に増加	平成27年度末 0件	3件	4件	3件
薬師高砂堀通りの賑わいづくりイベント開催支援による交流人口(参加者)数	平成28～30年度で合計7,500人以上	平成28年度から新規実施	0人 (未実施)	0人 (未実施)	5,500人	
実施計画における年次計画	①機能集約型まちづくり推進事業					
	H28年度		H29年度		H30年度	
	機能集約型市街地の形成					
	都市構造の調査・分析 居住動態の調査・分析 誘導施策の立案				都市機能の誘導	
					居住の誘導	
				新都市計画マスタープラン に向けた調査・検討		
②道路空間利活用推進事業						
H28年度		H29年度		H30年度		
定禅寺通り活用（オープンカフェ等実施）						
③ストック活用型都市再生推進事業						
H28年度		H29年度		H30年度		
リノベーションスクールの開催				成果を踏まえたあり方検討		
④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業						
H28年度		H29年度		H30年度		
薬師高砂堀通りの魅力と賑わいづくり						
高砂堀紹介による若林の特長を感じる空間づくり						
空き家等を活用したまちづくり検討						

⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業

H28年度	H29年度	H30年度
調査	対応の方向性検討	

⑥まち再生・まち育て活動支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
地域主体のまちづくり活動の支援		

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①機能集約型まちづくり推進事業	・都市構造及び居住動態の調査・分析を実施	○
②道路空間利活用推進事業	・公共空間利活用にかかる国家戦略特別区域の認定(「青葉通賑わい空間」の追加) ・オープンカフェ等のイベントを実施(一番町・中央通, 泉中央, 定禅寺通)	○
③ストック活用型都市再生推進事業	・せんだいリノベーションまちづくりスクール(実践型ワークショップ)の開催(8~12月) ・公共空間や民地のオープンスペースを使った賑わいづくりの試みとして、スクール受講生による「たちまちグリーンマルシェ」、「大町二丁目日用品店市」等を開催	○
④若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業	・薬師高砂掘通りベンチ脇のフラワーポット14基について、聖ウルスラ学院英智高等学校の生徒と協働で植え込み作業や水やりを実施 ・薬師堂駅前において賑わいづくりのイベントを開催(来場者数5,500人) ・薬師高砂掘通り周辺の地域資源を調査するため、まち歩きワークショップを開催(参加者数22人)	△
⑤郊外居住地域における暮らしの環境形成事業	・既存住宅の流通促進に向けた活用セミナーを実施(中山地区、台原地区) ・「郊外住宅地・西部地区まちづくりプロジェクト」において、郊外住宅地におけるまちづくりの取り組みへの支援を実施(鶴が丘地区、高森東地区、中山地区)	○
⑥まち再生・まち育て活動支援事業	・地元まちづくり団体が都市利便増進協定に基づき維持管理を行う「荒井東1号公園」について、運動広場や管理施設「SPiA」に続き、多目的広場等を含めた公園全体の供用を開始(平成30年4月) ・まちづくり団体の収入の多様化を目指し、荒井駅前広場において広告事業の社会実験を行うとともに、他地区で同事業が展開できるよう、広告事業マニュアルを作成	○
主な課題及び今後の対応	<p>【道路空間利活用推進事業】 道路空間を利用した地域活動の活性化に向け、関係者や地域との調整・連携を図りながら引き続き地域活動を支援していく。定禅寺通については、エリアの将来像等について地元関係者等との協議を重ねながら、利活用方策の検討を進める。</p> <p>【ストック活用型都市再生推進事業】 平成30年度まで開催してきたせんだいリノベーションまちづくりスクールの受講生へのフォローアップを継続して行うほか、シンポジウムを開催し、リノベーションまちづくりの浸透や意欲ある人材の獲得に繋げる。</p> <p>【若林区役所と薬師堂駅を基軸とした賑わい創出事業】 中長期的な当該地域のまちづくりに向け、引き続き意見交換等による地域ニーズの把握に努める。また、薬師堂駅前における賑わいイベントが地域資源の魅力発信ツールとして有効活用されるよう、今後イベントの主体となる地域団体への支援や情報共有を進める。</p> <p>【郊外居住地域における暮らしの環境形成事業】 郊外居住地域における暮らしの環境形成や、持続性確保に向け、既存住宅の流通促進に向けた取り組みや、地域の担い手が自発的に取り組む事業に対する支援を引き続き行う。</p> <p>【まち再生・まち育て活動支援事業】 荒井駅前広場で行った社会実験の結果も踏まえながら、道路や民地との一体的な利活用や維持管理等について、実現に向けた支援を行う(荒井駅周辺)。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

3. 自然と調和した持続可能な都市づくり

(4) 誰もが利用しやすく都市活力を高める交通基盤づくり

目標	高齢者や障害者などにもやさしい公共交通を中心とした交通体系を構築し、維持コストや環境負担の軽減、地域生活の安心や都市の成長などを重視した交通基盤の整備を進めます。																
総括	全ての事業において、着実に進捗した。																
個別事業名	①新たな都市交通政策推進事業 ②公共交通利用促進事業																
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績													
				H28年度	H29年度	H30年度											
	地下鉄・路線バス・JR線の利用者数	平成28～30年度で各前年度実績より増加	平成27年度 517千人/日	551千人/日	569千人/日	577千人/日											
実施計画における年次計画	①新たな都市交通政策推進事業																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新たな都市交通政策検討・策定</td> <td colspan="2">各種施策の検討・実施</td> </tr> <tr> <td>交通行動実態調査</td> <td colspan="2">交通行動実態調査・分析</td> </tr> <tr> <td colspan="3">地域公共交通調査・検討</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	新たな都市交通政策検討・策定	各種施策の検討・実施		交通行動実態調査	交通行動実態調査・分析		地域公共交通調査・検討	
H28年度	H29年度	H30年度															
新たな都市交通政策検討・策定	各種施策の検討・実施																
交通行動実態調査	交通行動実態調査・分析																
地域公共交通調査・検討																	
	②公共交通利用促進事業																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">運賃施策（100円均一、200円均一）の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3">モビリティ・マネジメント等の実施</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	運賃施策（100円均一、200円均一）の実施			モビリティ・マネジメント等の実施				
H28年度	H29年度	H30年度															
運賃施策（100円均一、200円均一）の実施																	
モビリティ・マネジメント等の実施																	

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①新たな都市交通政策推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都心の賑わい創出に向けた道路の機能・役割のあり方を整理 ・交通行動実態調査・分析の実施 ・地域交通の立ち上げ支援を行う「みんなでつくろう地域交通スタート支援事業」を新たに実施 ・燕沢地区における地域交通試験運行の実施 	○
	②公共交通利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「地下鉄200円均一運賃」「東西線結節駅周辺バス100円均一運賃」を東西線開業時から継続的に実施 ・大学との協働により作成した交通情報マップを新入学生に配布し、公共交通での通学を促す「大学生モビリティマネジメント(MM)」を実施(6大学) ・転入者向けに公共交通情報を掲載した「せんだいスマートグッズ」を配布する「転入者MM」を実施(約2万部配布) ・公共交通利用促進施策の一環として、市職員を対象とした研修や啓発ポスターの掲示等を実施 ・公共交通の利用促進等を目的としたPRイベント「交通フェスタ」を開催 	○

主な課題及び
今後の対応

【新たな都市交通政策推進事業】

地域交通の確保にあたっては、市民の交通行動の分析などを実施していくとともに、地域が取り組む地域交通の運行支援や地域・交通事業者・行政の連携による持続可能な運行に向けた対策を検討していく。

【公共交通利用促進事業】

大学生MMを実施していない大学に対し、実施を働きかける。路線バスの利用者増加につなげるため、車利用の多いバス路線沿線住民を対象としたMMを実施する。

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(1) 地域産業の飛躍と競争力の拡大

目標	本市経済を支える中小企業の競争力強化や商店街の魅力向上に資する取り組みを推進するほか、農工商連携、農業の6次産業化などを支援し、地域産業の振興を図ります。
総括	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。

個別事業名	①中小企業人材確保・育成事業 ②中小企業経営基盤強化事業 ③働く女性の活躍推進事業 ④雇用対策事業 ⑤中心部商店街活性化促進事業 ⑥農業経営体育成支援事業 ⑦農食ビジネス推進事業
-------	---

関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	中小企業展示商談会等によるマッチング件数	平成28～30年度で合計600件以上	平成26年度173件	240件	333件	453件
	認定農業者数	平成30年度で315経営体に増加	平成27年度269経営体	260経営体	258経営体	250経営体
	農地の集積・集約化における農地利用集積率	平成30年度で74%に増加	平成27年度68%	66%	68%	66%
	農食ビジネス商品開発支援における商品化・事業化支援件数	平成28～30年度で合計18件以上	平成27年度5件	6件	5件	5件
	農工商連携・6次産業化支援案件等の売上高	平成30年度で平成27年度比6%増加	平成27年度約250百万円	30%増加	63%増加	59%増加

実施計画における年次計画	①中小企業人材確保・育成事業	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">地元企業の魅力発信・若者への情報提供</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">人材確保・育成・定着等の支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">学生の地元定着・UIターン就職促進</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	地元企業の魅力発信・若者への情報提供			人材確保・育成・定着等の支援			学生の地元定着・UIターン就職促進										
	H28年度	H29年度	H30年度																			
	地元企業の魅力発信・若者への情報提供																					
	人材確保・育成・定着等の支援																					
	学生の地元定着・UIターン就職促進																					
	②中小企業経営基盤強化事業	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">販路開拓支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">支援拠点の整備</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援			販路開拓支援			支援拠点の整備										
	H28年度	H29年度	H30年度																			
	経営課題解決、経営革新・新事業展開の支援																					
	販路開拓支援																					
	支援拠点の整備																					
③働く女性の活躍推進事業	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(企業及び働く女性に向けた取り組み)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">女性活躍推進計画に基づく事業の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">推進計画の実施状況のフォローアップ・公表</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(事業主としての仙台市の取り組み)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">特定事業主行動計画に基づく事業の実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">行動計画の実施状況のフォローアップ・公表</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	(企業及び働く女性に向けた取り組み)			女性活躍推進計画に基づく事業の実施			推進計画の実施状況のフォローアップ・公表			(事業主としての仙台市の取り組み)			特定事業主行動計画に基づく事業の実施			行動計画の実施状況のフォローアップ・公表		
H28年度	H29年度	H30年度																				
(企業及び働く女性に向けた取り組み)																						
女性活躍推進計画に基づく事業の実施																						
推進計画の実施状況のフォローアップ・公表																						
(事業主としての仙台市の取り組み)																						
特定事業主行動計画に基づく事業の実施																						
行動計画の実施状況のフォローアップ・公表																						

④雇用対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
各種就業支援		

⑤中心部商店街活性化促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
エリアマネジメント組織 設立支援	エリアマネジメント組織の自主運営支援	

⑥農業経営体育成支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
多様な農業経営体の育成・確保に向けた取り組みの実施		
地域農業経営再開復興支援		
農地の集積・集約化推進		
生産調整の推進		
女性農業者（アグリヒロイン）育成		
非主食用米の作付促進		

⑦農食ビジネス推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
農商工連携マッチング・販路拡大支援		
商品開発支援		
ブランド化モデル事業		
6次産業化人材育成・事業化支援		
地産地消推進		

個別事業内容	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
	①中小企業人材確保・育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台で働きたい！イベント」の実施（保護者向けセミナー50人、学生向けイベント43人） ・WISE（学生による地元企業の魅力発信）：学生記者33人、受入企業23社 ・UIターン学生向け起業研究会を開催（2回、参加企業28社、参加者31人） ・転職イベント（DODA）に出展（相談者数40人） ・商工団体と連携し、地元企業の魅力発信のための交流イベントを開催（参加企業60社、参加者117人） 	○
②中小企業経営基盤強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・都市間連携で販路開拓を支援 24件（連携都市支援機関コーディネーター会議（仙台市）、第21回関西機械要素技術展（大阪府）、第4回IoT/M2M展 秋（東京都）） ・首都圏等への地域産品等の販路開拓を支援 313件（第86回東京インターナショナル・ギフトショー秋2018（東京都）、第53回スーパーマーケット・トレードショー2019（千葉県）） ・第5回新東北みやげコンテスト併設の商談会にて商談 116件 ・専門家による経営相談やマーケティング・販売戦略等に関するセミナーを実施し、中小企業の課題解決を支援 ・外部人材を中小企業に派遣し、新規事業の展開等、経営力強化に向けた取り組みを支援 	◎	

③働く女性の活躍推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業等における女性活躍促進に向けた協議会を開催 ・女性活躍を推進する企業等への支援として、「企業の未来プロジェクト2018」を実施(参加24社)、うち女性管理職候補育成研修「仙台女性リーダー・トレーニング・プログラム」には各社から女性計24人が参加 ・企業向け啓発事業として、有識者の基調講演と地元企業経営者から取組事例の紹介を行う女性活躍推進セミナーを開催(参加者70人) ・働く女性向け啓発事業として、ロールモデル紹介等を行うセミナー・交流会等を開催(参加者75人) ・市役所における女性のキャリアアップを支援するために「女性職員チャレンジセミナー」を開催(平成29年度と同様) 	○
④雇用対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアコンサルティングを実施(313人) ・出前セミナー、キャリア相談を実施(14回) ・ジョブトライアルを実施(参加事業所21社、参加者29名) ・合同企業説明会等を実施(6回、延べ477社、2,070人参加) ・首都圏合同企業説明会(2回、延べ28社、31人参加) ・事業復興型雇用創出助成金事業により36人の雇用を創出 	○
⑤中心部商店街活性化促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部商店街活性化協議会の運営を支援 ・中心部商店街において賑わい向上に繋がるイベント等を試験的に実施 ・起業家のテストマーケティングの機会として、「TRY6チャレンジShop&Café」(Shop8組、Café1組が出店、9,705人が来店)、「青葉通イチとイチ」(延べ8日間開催、約20,000人が来場)等を実施 	○
⑥農業経営体育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者(10経営体) ・アグリヒロイン育成事業受講生による自主研修や交流会の開催にかかる費用の助成 ・中間管理機構集積協力金(経営転換協力金:65件12,016千円、地域集積協力金:4件13,019千円) 	△
⑦農食ビジネス推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化支援事業により、ラベルデザイン製作等のマーケティング支援(2件)及びパッケージプランナーや中小企業診断士等の専門家派遣支援(3件)を実施 	◎
主な課題及び今後の対応	<p>【中小企業人材確保・育成事業】 地元中小企業の魅力を情報発信するとともに、若者の地元定着支援等の事業を実施する。また、地元大学等と連携し、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでいく。</p> <p>【中小企業経営基盤強化事業】 販路のさらなる拡大を目指すため、商談件数の伸びが特に顕著な新東北みやげコンテストに域外バイヤーの参加を促す等、販路開拓支援を継続する。</p> <p>【働く女性の活躍推進事業】 参加企業から評価を得ている「企業の未来プロジェクト」をはじめ、地域の企業、経済団体等と連携しながら、企業等における女性活躍促進に向けて引き続き取り組む。また女性役員育成プログラムについては、令和元年度に内閣府が仙台を会場に実施する関連事業とも連携しながら、地元中小企業のニーズに合ったカリキュラムの開発を進める。</p> <p>【中心部商店街活性化促進事業】 中心部商店街活性化協議会の自主運営に向けた収益確保の取り組みに対して重点的に支援する。</p> <p>【農業経営体育成支援事業】 認定農業者等を増加させる取り組みとともに、本市農業生産の中核となり、優れた経営感覚を有する農業経営者を育成するため「せんだい次世代農業経営者育成ゼミ」を実施するほか、担い手の経営充実や所得向上に向けた事業を行う。また、様々な機会を捉えて農地中間管理事業のPRを行い、担い手への農地集積を図る。 ※農地中間管理事業:農地中間管理機構が農地の出し手(地権者等)から農用地等を借り受け、まとまりある形で利用できるよう配慮して農地の受け手(担い手)へ貸し付ける事業。</p> <p>【農食ビジネス推進事業】 資金面での支援を継続するほか、専門家による経営診断や企画段階からの事業計画に対する助言の強化により、継続的な事業展開や事業者の経営改善に繋がる終始一貫した伴走型の支援制度を展開する。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(2) 東北の交流人口の拡大への戦略的取り組み

目標	東北各地と連携し、観光やスポーツ・文化芸術など、多様な分野を融合させながら、圏域全体の集客力を高めるとともに、2020東京オリンピック・パラリンピックを契機とした本市の魅力向上と情報発信を進めます。					
総括	個別の事業において状況は異なるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①コンベンション誘致事業 ②広域観光推進事業 ③観光プロモーション推進事業 ④西部地区観光振興事業 ⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業 ⑥国際交流事業 ⑦インバウンド推進事業 ⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	国際会議開催件数	平成30年までに250件に増加	平成26年中80件	115件	120件	118件 (暫定値)
	観光客入込数	平成29年までに2,300万人に増加	平成27年22,293,853人	22,146,806人/年	22,001,714人/年	21,817,554人/年
	仙台西部地域観光客入込数	平成29年までに600万人に増加	平成27年5,780,629人	5,339,975人/年	5,484,056人/年	5,456,458人/年
	秋保地区への観光客入込数	平成29年までに247万人以上に増加	平成26年中224万人	246万人	254万人	251万人
	国際姉妹・友好都市等への訪問及び訪問団受け入れ回数	平成28～30年度で合計20件以上	平成27年度6件	10件	12件	6件
外国人宿泊者数	平成30年までに11万人以上に増加	平成27年115,947人/年	128,450人/年	168,632人/年	204,340人/年	

①コンベンション誘致事業

H28年度	H29年度	H30年度
国際会議等コンベンションの誘致		

②広域観光推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
仙台・福島・山形 三市観光・物産広域連携推進（域内観光素材やモデルルート紹介等）	※東北六市連携に移行予定	
東北六市連携事業		
教育旅行誘致の強化・域内観光素材やモデルルート紹介等		

③観光プロモーション推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
Webサイト・ガイドブック等様々な媒体による情報発信		
仙台・宮城伊達な旅キャンペーンなどの誘客プロモーション実施		

④西部地区観光振興事業

H28年度	H29年度	H30年度
観光資源開発（地域資源を活用した体験型観光の推進）		
魅力発信（Web・ガイドブック等様々な媒体による情報発信）		
秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業補助金交付事業		

⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
新たな資源の発掘		
資源を活用した地域づくり（秋保地域活動のつどいの実施）		

⑥国際交流事業

H28年度	H29年度	H30年度
国際姉妹・友好都市等海外とのつながりを活かした魅力発信や国際理解促進等に関する事業の実施		
国際姉妹・友好都市等への訪問及び訪問回受け入れ		

⑦インバウンド推進事業


H28年度	H29年度	H30年度
海外へのプロモーション実施		
受入環境の整備、観光資源の発掘・磨き上げ		

⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進

H28年度	H29年度	H30年度
対象国との交流計画策定		
キャンプ誘致及び各種文化・スポーツを通じた関連事業の開催		
動向調査・ホストタウン二次以降の登録検討		

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①コンベンション誘致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本政府観光局が企画・参画者募集を行った「国際会議海外キーパーソン招請事業」を活用し、キーパーソンの仙台招請・視察受入を実施 ・世界最大規模の海外MICE見本市である「IMEXフランクフルト」に出展し、PR及び商談を実施 ・「Sendai Communication Fair in 仙台国際センター」を開催し、会議主催者と本市コンベンション関係企業との商談会や助成制度等の情報提供を実施 ・仙台国際センターの施設概要や受入環境等を紹介する映像コンテンツを作成し、センターHP等でPRを実施 	△
②広域観光推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「伊達な広域観光推進協議会」において教育旅行に焦点を当てたプロモーション活動を実施し、12校の教育旅行誘致を実現 ・「仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会」と連携し、関西での旅行代理店向けセミナーを実施 ・東北六市のネットワークを活用した取り組みとして、平成30年6月「東北絆まつり」を盛岡で開催(来場者数30万3,000人)したほか、国内外から東北への誘客に向け、「大手町・丸の内JAPAN市」やタイで開催された旅行博への出展を実施 ・東北の被災四県や東北観光推進機構等と連携した「復興ツーリズム」を推進したほか、東北の観光案内所のネットワーク化(東北28都市32カ所)を実施 ・東北の魅力発信拠点として勾当台公園内に整備した「LIVE+RALLY PARK.」の活用により、地域の魅力を仙台から発信(来場者数11万8,000人) ・仙台駅及びその周辺における乗り換え案内等の案内誘導サインの課題を整理し、改善方針についてのとりまとめを実施 	○
③観光プロモーション推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト型ガイドブック「週末仙台」の配布(仙台市観光情報センター等) ・せんだい旅日和や伊達美味等のWebサイトを通じた情報発信 ・仙台・宮城【伊達な旅】キャンペーンの実施(夏7月～9月、冬12月～3月) ・首都圏七夕プロモーションの実施(東京都内5カ所) ・仙台・青葉まつり(90万人)、仙台七夕まつり(202.6万人)、SENDAI光のページェント(236万人)を実施 	△
④西部地区観光振興事業	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地区の地域資源を活用した体験型観光の推進に向け、マウンテンバイクのサイクルステーションを拡充(18カ所) ・西部地区の体験型観光資源についてWebサイト・ポスター・チラシで情報発信 ・JR仙台駅において西部地区の魅力を発信する観光展を開催 ・秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業助成金交付事業を実施(16件、9,959千円助成) 	△
⑤秋保ミュージアム環境整備支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・秋保資源活用委員会の活動を支援(全10回) ・「いってみっぺ秋保」パンフの企画・作成(新規5コース) ・豊後館散策路案内誘導看板設置 ・白岩見晴台通路整備 ・秋保地区地域活動のつどいを実施(参加者数41団体115人) 	○
⑥国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台国際ハーフマラソン大会国際姉妹都市等選手団の来仙 ・長春市公式訪問団の受入 ・台南市への公式訪問団の派遣 	○
⑦インバウンド推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行博への出展、旅行会社・メディア等招請事業の実施 ・外国人旅行者向け観光案内拠点における体験型観光プログラムの充実 ・関係団体と連携した仙台空港発着新規路線の誘致活動 ・首都圏を訪れる外国人旅行者向けプロモーションの実施 	◎

個別事業内容

<p>⑧東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進</p>	<p>・イタリアバレーボール連盟、イタリア野球・ソフトボール連盟、イタリアパラリンピック委員会等の視察を受入れ、バレーボール連盟、野球・ソフトボール連盟とは仙台市での事前キャンプ実施を目指し協力していくことについて覚書を締結 ・スポーツ交流事業として、野球U15仙台市選抜チームをイタリアに派遣し、国際大会に参加したほか、イタリア中部地震の被災地域と交流 ・世界バレー女子大会イタリア代表の事前合宿を受入れ、アゼルバイジャン代表との親善試合を開催 ・イタリア共和国の音楽、食文化、観光等を市民に紹介する交流事業「Amo ITALIA!(アーモ イタリア)」として民間イベントへのブース出展を実施</p>	
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【コンベンション誘致事業】 国際会議の誘致・開催決定には数年間を要することから、都市の知名度向上の取り組みを継続的に展開していく。また、国際会議等のコンベンション誘致を継続しながら、企業系会議等をターゲットとした誘致セールスにも取り組むとともに、会議等の受入環境の充実を図ることにより、さらなる交流人口の拡大および地域経済の活性化を図る。</p> <p>【広域観光推進事業】 観光案内所のネットワーク事業において連携する自治体の拡充に取り組むほか、「東北の食の体験コンテンツ認定・発信」や「東北の美酒と食に着目したツーリズム推進」等、本市のマーケットや発信力を活用した新規事業を推進することにより、連携都市や事業範囲の拡大を図る。また、東北の二次交通に関する効果的な情報発信及び広域プロモーションの実施により訪日外国人の利便性向上に取り組む。</p> <p>【観光プロモーション推進事業】 ターゲットを明確化し、それぞれの特徴やニーズに即した効果的な情報発信・プロモーションを実施するとともに、体験プログラム等多彩なコンテンツを活用したプロモーションにも注力し、国内外からの誘客とリピーターの確保を図る。</p> <p>【西部地区観光振興事業】 多様化する観光客のニーズを捉えた観光資源の検討を行うとともに、民間主導による体験型観光推進の動きとも連携しながら、新たな体験プログラムの創出も含め、効果的な事業の展開を図る。</p> <p>【インバウンド推進事業】 国・地域により外国人旅行者の動態や嗜好が異なることから、引き続き市場特性に応じた観光コンテンツの発掘・磨き上げを行うとともに、受入環境を含めた、仙台・東北の観光地としての魅力を海外に発信することにより、仙台へのさらなる誘客及び地域経済の活性化を図る。</p> <p>【東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流促進】 イタリアサッカー、バレーボール、野球・ソフトボール等の事前キャンプ受入に向け、宿泊・練習施設の手配、交流事業実施に係る調整等の環境整備に取り組む。また、市民のスポーツに取り組む意識や技術の向上、多様性理解の促進、地域スポーツ・障害者スポーツの活性化のほか、ボランティアのノウハウやスキルの蓄積につながるような取り組みを企画・実施していく。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(3) 未来への活力を創る産業の育成・誘致

目標	本市の人材力を生かし、次世代エネルギー関連事業や健康福祉事業など今後の成長産業の育成・誘致を推進し、本市の地域経済の自立的・長期的な発展と雇用の安定的な確保をめざします。					
総括	一部で予定を上回る成果を上げた事業があるなど、着実に進捗した。					
個別事業名	①起業支援事業 ②IT産業国際連携促進事業 ③産学連携推進事業 ④地域ウェルビーイング産業創出事業 ⑤企業立地促進事業 ⑥次世代エネルギー創出促進事業					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	市内開業率	平成29年までに全国1位	平成26年全国2位	平成28年全国2位	平成29年全国2位	平成30年全国2位
	IT産業国際連携による人材育成プログラム参加者数	平成28～30年度で合計60人以上	平成27年度23人	20人	51人	43人
	グローバルラボ仙台コンソーシアム参加企業・コンテスト参加者によるアプリケーション・ITサービスのリリース件数	平成28～30年度で合計20件以上	平成27年度5件	4件	9件	8件
	産学連携推進支援による製品化・事業化件数	平成28～30年度で合計30件以上	平成27年度9件	11件	7件	12件
	フィンランド企業等とのウェルビーイング事業提携件数	平成28～30年度で合計12件以上	平成27年度3件	6件	6件	5件
	市内企業のウェルビーイング製品・サービス事業化件数	平成28～30年度で合計9件以上	平成27年度3件	5件	7件	7件
	市内企業誘致数	平成28～30年度で合計45件以上	平成26年度17件	26件	38件	40件
	エネルギーを切り口としたまちづくりに関する企業等との共同研究取組件数	平成28～30年度で合計3件以上	平成27年度5件	2件	1件	3件
実施計画における年次計画	①起業支援事業					
	H28年度	H29年度	H30年度			
	起業支援センター「アシ☆スタ」による起業支援の実施			▶		
起業家応援イベント、起業家の販路開拓支援イベントの開催			▶			
②IT産業国際連携促進事業						
H28年度	H29年度	H30年度				
ゲーム及び課題解決型ITサービスを柱とした人材育成			▶			
開発したサービスのプロモーション・実証事業への協力、資金調達を含む事業化の支援、海外展開支援			▶			

③産学連携推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	御用聞き企業訪問の実施	
	MEMS産業クラスター創生に対する支援	
	東北大学連携ビジネスインキュベーター（T-Biz）への支援	
	中小企業製品開発等への支援	

④地域ウェルビーイング産業創出事業

H28年度	H29年度	H30年度
	（フィンランドとの連携促進）	
	企業間連携の促進、共同プロジェクト等の実施	
	（地域企業のビジネス支援）	
	ビジネス開発委託事業、地域の協力事業所と連携した実証実験の実施	
	首都圏展示会への出展支援	
	フィンランド企業との商談支援	

⑤企業立地促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	企業誘致プロモーション実施	
	研究開発型企業の立地支援	
	企業立地促進に向けた助成	

⑥次世代エネルギー創出促進事業

H28年度	H29年度	H30年度
	（企業等との共同研究）	
	エネルギーを切り口としたまちづくりに関する共同研究の推進	
	（創エネルギー導入促進助成制度）	
	分散型エネルギー創出に向けた事業者等への助成	
	研究開発・実証実験施設の立地促進	
	（藻類バイオマス等研究開発の推進）	
	研究開発・実証実験等支援	

個別事業内容	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
	①起業支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・起業支援センターにおける相談（窓口相談件数1,653件、開業件数95件） ・起業家セミナー・起業家交流会を開催（22回、759人参加） ・起業家応援イベント「SENDAI for Startups! 2019」を開催（1,000人参加） ・起業家週間「SENDAI Entrepreneur Week 2019」を開催（27日間、1,532人参加） ・ICTを活用した課題解決ビジネス創造プログラムイベントを開催（102人参加、ハンズオン支援6件） ・社会起業啓発イベント「SENDAI Social Innovation Night」を開催（10回、430人参加） ・起業ワークショップを開催（18回、322人参加） ・社会起業家アクセラレーションプログラムを実施（12人選抜・支援） ・急成長型ベンチャー・中核的起業家育成プログラムを実施（18人支援） ・公共空間活用型起業家育成業務イベントを開催（94人参加、ハンズオン支援10件） 	○
②IT産業国際連携促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成プログラムを実施。ゲーム部門は4作品をGoogle play、App Storeにリリース。IT部門は4作品をアプリコンテストDA・TE・APPS！2019で披露。育成には市内9社が関与 ・企業支援プログラムを実施（海外展開支援1件、首都圏展示会出展1回、アプリコンテストにおける学生とのマッチング1回、オウル市のゲームラボとゲーム開発に係る共同プログラム3回） 	◎	

③産学連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・御用聞き型企業訪問事業を実施(企業訪問56回、寺子屋せんだい11回) ・MEMS(微小電気機械システム)産業の創出に向けてマッチングフォーラムを開催 ・ものづくり中小企業の新事業展開支援を実施(製品・事業化件数:御用聞き先1件、製品開発補助金3件、クラウドファンディング活用支援事業1件、IIS1件、MEMS1件、T-Biz5件) ・東北大学連携型起業家育成施設(T-Biz)支援(入居企業16社の賃料補助) ・東北大学IIS研究センター支援(地域企業新規事業売上高4億2千万円、新規雇用6人、競争的資金獲得9件) 	○
④地域ウェルビーイング産業創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業創成国際館への入居企業等を支援(日本側4団体、フィンランド側2団体) ・健康福祉サービス・機器開発委託業務を採択(5件) ・日本ーフィンランド国際ビジネスの提携を支援(5件) ・市場投入製品・サービス件数(7件) 	◎
⑤企業立地促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進助成金制度による企業立地(新規指定件数40件、雇用者数1,937人) ・民間投資促進特区制度(ものづくり及び情報サービス産業)による立地企業への支援(新規指定件数36件) 	◎
⑥次世代エネルギー創出促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーを切り口としたまちづくりに関する企業との共同研究については、「仮想発電所技術を活用した防災環境配慮型エネルギーマネジメント」等3件を実施 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【起業支援事業】 雇用創出力があり地域経済の活性化の核となる中核的起業家や、本市の産業集積の強みであるICT関連分野や大学の知財や研究成果を活用するベンチャー企業の育成を引き続き重点的に行うとともに、海外展開支援についても注力する。</p> <p>【IT産業国際連携促進事業】 IoTやAIなどの先端技術とさまざまな産業との掛け合わせにより新事業の創出を行う「X-TECHイノベーション創出促進事業」等と連携し、市内IT企業の新たな事業機会の創出につながる取組みを実施する。</p> <p>【地域ウェルビーイング産業創出事業】 介護現場の課題解決に向けて、CareTech(介護分野とICT分野の融合)に向けた取組みを本格化し、ICT事業者の介護分野への新事業展開、介護現場でのICT活用による労働負担軽減や生産性向上の双方を推進していく。</p> <p>【企業立地促進事業】 企業の地方拠点設置の第一のニーズである人材の確保に向け、引き続き人材獲得支援に取り組むとともに、関係他局と連携し、オフィスビルの建て替えなど民間投資の促進に向けた取組みを開始する。また、次世代放射光施設の立地に伴い、同施設を中核とするリサーチコンプレックスの形成に向け、有効な支援策を検討する。</p> <p>【次世代エネルギー創出促進事業】 創エネルギー導入促進に向けて、事業者ヒアリングを通し、助成制度活用案件の掘り起こしを継続する。本市と共同研究協定を締結している事業者とは、事業展開の可能性等の協議を継続し、事業の具体化を図る。</p>	

重点事業 自己評価シート

I 都市像の実現を牽引する4つの重点政策

4. 人をひきつけ躍動する仙台の魅力と活力づくり

(4) 新たな都市軸の形成と活用

目標	地下鉄東西線の開業により生まれた新たな都市軸上の戦略的な重点地区について、地域特性に合わせた整備と機能の集積、活性化を図ります。																																																						
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。																																																						
個別事業名	①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業 ②東西線沿線まちづくり推進事業 ③荒井駅北土地区画整理事業 ④青葉山公園整備事業																																																						
実施計画における年次計画	<p>①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事</td> </tr> <tr> <td colspan="3">岩切駅自由通路・エレベーター等工事</td> </tr> <tr> <td>南仙台駅エレベーター工事</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路特定事業計画策定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東西線沿線まちづくり推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">土地利用事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>③荒井駅北土地区画整理事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">調査・検討</td> </tr> <tr> <td colspan="3">地権者合意形成</td> </tr> </tbody> </table> <p>④青葉山公園整備事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(追廻地区整備)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(仮称)公園センター等計画・設計及び整備</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(国史跡指定地区整備)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">二の丸跡、長沼・五色沼等整備</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事			岩切駅自由通路・エレベーター等工事			南仙台駅エレベーター工事			道路特定事業計画策定			道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）			駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）			H28年度	H29年度	H30年度	新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介				土地利用事業の実施		H28年度	H29年度	H30年度	調査・検討			地権者合意形成			H28年度	H29年度	H30年度	(追廻地区整備)			(仮称)公園センター等計画・設計及び整備			(国史跡指定地区整備)			二の丸跡、長沼・五色沼等整備		
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
仙台駅西口駅前広場地下通路・エレベーター等工事																																																							
岩切駅自由通路・エレベーター等工事																																																							
南仙台駅エレベーター工事																																																							
道路特定事業計画策定																																																							
道路特定事業計画に基づくバリアフリー化（測量・設計・用地買収・工事）																																																							
駅アクセス道路整備（測量・設計・用地買収・工事）																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
新たな土地利用に向けた課題解決相談・事業支援制度の紹介																																																							
	土地利用事業の実施																																																						
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
調査・検討																																																							
地権者合意形成																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
(追廻地区整備)																																																							
(仮称)公園センター等計画・設計及び整備																																																							
(国史跡指定地区整備)																																																							
二の丸跡、長沼・五色沼等整備																																																							

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①鉄道駅周辺地区交通結節機能強化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台駅西口駅前広場再整備工事を実施(エレベーター1基の供用開始) ・岩切駅自由通路等整備工事を実施(自由通路・エレベーター等の供用開始) ・道路のバリアフリー化のため、市道泉中央幹線2号線の視覚障害者誘導用ブロックの改善等を実施 	○
	②東西線沿線まちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台工業団地協同組合が進める移転事業への支援を実施 ・大規模土地所有者や開発事業者等に対し沿線の開発動向の情報提供を行うなど、駅周辺地区における土地利用転換や高度利用の促進に向けた働きかけを実施 ・東西線沿線の魅力や情報を伝えるパンフレットを市内宿泊施設や集客施設等への配架したほか、教育旅行セミナー等で配布 	○
	③荒井駅北土地地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・荒井駅北組合設立準備委員会 解散(平成29年4月) 	×
	④青葉山公園整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉山公園(仮称)公園センターについて、基本設計が完了し、新たに新築工事实施設計及び展示設計の業務委託契約を締結したほか、引き続き基盤整備工事を実施 ・移転未了1区画について移転補償契約を締結 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【東西線沿線まちづくり推進事業】 仙台工業団地協同組合が進める移転事業への支援を実施するとともに、事業化後も助言を継続する。</p> <p>【荒井駅北土地地区画整理事業】 今後は、地元での合意形成が図られた段階で事業手法も含め改めて検討する。</p> <p>【青葉山公園整備事業】 事業地内(追廻地区)に居住している1区画の移転補償契約が未了であり、関係機関と情報共有を図りながら早期解決を図る。(仮称)公園センターの整備については、新築工事实施設計及び展示設計等を完了させ、中央広場の設計に着手する。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

1. 暮らしや経済の再建に向けた取り組み

目標	被災された方々への住まいの再建支援、暮らし、健康に対する長期的な支援を引き続き実施するとともに、経済・農業の復興に向けた取り組みや都市基盤の再整備、美しく安全・安心な海辺の復元を進めます。					
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。					
個別事業名	①被災者生活再建支援事業 ②被災者の健康支援 ③津波浸水区域における住宅再建支援事業 ④東部地域農業生産基盤整備事業 ⑤蒲生北部地区復興再整備事業 ⑥仙台港周辺地区復興支援事業 ⑦東部地域移転跡地利活用推進事業 ⑧ふるさとの杜再生プロジェクト ⑨海岸公園再整備事業 ⑩海辺のふる里づくり支援事業 ⑪六郷東部地区現地再建まちづくり					
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績		
				H28年度	H29年度	H30年度
	市内被災世帯における仮設住宅退去済み世帯及び住まいの再建可能世帯の割合	平成28年度末で 100%	平成27年末 88%	100%	—	—
	市外被災世帯における仮設住宅退去済み世帯及び住まいの再建可能世帯の割合	平成30年度末で 99%	平成27年末 74%	93.0%	98.2%	99.9%
	東部地域ほ場整備率 ※対象1,900ha	平成30年度末で 100%達成	平成27年度 20%	50%	66%	100%
	蒲生北部地区における使用収益を開始する宅地面積	平成30年度で 合計34.1ha	平成27年度 0ha	10.3ha	12.1ha	17.9ha
	仙台港周辺地区における復興特区の新規指定件数	平成28～30年度 で合計15件	平成27年度 3件	5件	2件	4件
	仙台港コンテナ貨物取扱量	平成30年中で 257千TEU	平成27年中 224千TEU	246千TEU	258千TEU	275千TEU
海岸公園の災害復旧と避難の丘整備	平成29年度末までに整備完了	—	・海岸公園の災害復旧(蒲生・荒浜・井土地区) ⇒蒲生・荒浜地区復旧完了 ・避難の丘整備(蒲生・荒浜・井土・藤塚地区) ⇒全地区(計4基)整備完了	海岸公園の災害復旧 ⇒井土地区復旧完了 (蒲生・荒浜地区利用再開)	井土地区 利用再開	

実施計画
における
年次計画

①被災者生活再建支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
各種生活再建支援 【市内被災世帯】		
各種生活再建支援【市外被災世帯】		

②被災者の健康支援

H28年度	H29年度	H30年度
健康支援・健康講座開催・コミュニティ支援		

③津波浸水区域における住宅再建支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
津波浸水予測区域からの住宅の移転再建に関する補助金の交付		
津波被災宅地防災対策に関する補助金の交付		
津波被災地域住宅再建の促進に関する補助金の交付		

④東部地域農業生産基盤整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
ほ場整備工事		

⑤蒲生北部地区復興再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
移転補償		
土地区画整理工事、換地の引き渡し・保留地販売		

⑥仙台港周辺地区復興支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
仙台港利用促進に向けた各種事業の推進		
蒲生北部地区市有地利活用の促進（誘致活動）		
産業集積に向けた助成金の交付・復興特区制度の活用		

⑦東部地域移転跡地利活用推進事業

H28年度	H29年度	H30年度
土地利用のアイデア募集 跡地利活用方針の決定企画提案の公募	企画提案者との条件協議 跡地利活用条件の確定	利活用事業者の決定 必要となる基盤整備

⑧ふるさとの杜再生プロジェクト

H28年度	H29年度	H30年度
市民植樹の継続開催		
市民参加による維持管理の実施		
支援の受け入れ（基金・苗木）		

⑨海岸公園再整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
蒲生・荒浜地区再整備		
井土地区再整備		
避難の丘植栽整備		

⑩海辺のふる里づくり支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	ふる里づくり専門家の派遣	
	ふる里づくり活動への助成	
みんなの家移築	交流施設運営	
	インフラ整備の推進	

⑪六郷東部地区現地再建まちづくり

H28年度	H29年度	H30年度
まちづくり計画アクションプラン策定支援	交流促進支援	
東六郷コミュニティ・センター、東六郷小学校跡地の利活用の検討		
地域行事等を担う人材の育成		
地域主体の健康づくりへの支援		
道路補修工事		

個別事業内容	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
	①被災者生活再建支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活再建支援員の戸別訪問等による再建支援(62世帯) ひとり暮らし高齢者等生活支援システムの運用(223世帯) 復興公営住宅孤立防止対策としてフォローアップ訪問(1,194世帯)、自治会役員等の情報交換会(3回) 	○
	②被災者の健康支援	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問や電話などによる健康調査・健康相談の実施(合計4,250世帯、7,896件) 保健福祉センター、総合支所保健福祉課で健康講座などを開催(開催回数:270回、参加者:3,164人) 復興公営住宅等入居者に対する健康情報等の発行(1,580部) 	○
	③津波浸水区域における住宅再建支援事業	住宅再建に向けた支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> 区域Aの移転住宅再建補助金(3件) 区域Bの移転住宅再建補助金(1件) 区域Aの宅地防災対策補助金(1件) 区域A・Bの現地住宅再建(建替)補助金(5件) 区域A・Bの現地住宅再建(修繕)補助金(5件) ※区域Aとは、様々な津波防災施設整備後も、なお津波による浸水が予測される区域で「移転対象地区」を除く区域。区域Bとは、津波被害を受けた地域のうち、「区域A」および「移転対象地区」を除く区域	○
	④東部地域農業生産基盤整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 対象区域1,900haの整備を完了(整備率100%) 通年施行に伴う休耕補償の実施(支払件数:381件、支払金額:131,170千円) 	○
	⑤蒲生北部地区復興再整備事業	土地区画整理事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 使用収益開始(17.9ha) 移転補償契約(建物37戸、工作物62件、占有者18件) 保留地処分済(1.5ha) 	△
	⑥仙台港周辺地区復興支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 民間投資促進特区(ものづくり)認定と企業立地促進助成金制度による仙台港地区の立地企業への支援 仙台国際貿易港整備利用促進協議会による港湾利用促進事業を実施 蒲生北部地区市有地利活用における第2回及び第3回事業者募集を実施(4画地、計21,934㎡) 事業者決定済みの画地について土地の引き渡しを実施(5画地、計49,120㎡) 	○

<p>⑦東部地域移転跡地利活用推進事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の専門家を含めた委員会による評価・選定結果をふまえ、荒浜・南蒲生・新浜・藤塚の4地区において事業を行う5事業者を「事業候補者」として決定(二次募集) ・一次募集で決定した事業候補者のうち、1事業者が事業を開始 ・一次募集で落選した1事業者と希望区画の調整を行い、事業候補者として追加決定 	<p>○</p>
<p>⑧ふるさとの杜再生プロジェクト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民植樹を実施(海岸防災林荒浜字南官林地区:約450人参加、海岸公園井土地区:約400人参加) ・維持管理として育樹会を実施(6回) ・仙台ふるさと応援寄附(ふるさとの杜再生)の受け入れ(4,095千円) ・植樹希望団体との協定締結(植樹時期:平成30年9月～令和2年5月、海岸防災林荒浜字北官林地区) ・市民協働による「仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議」を6回実施 ・仙台防災未来フォーラム等においてブースを出展し、取組状況を報告 	<p>○</p>
<p>⑨海岸公園再整備事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・井土地区(冒険広場、馬術場)の全面利用再開 	<p>○</p>
<p>⑩海辺のふる里づくり支援事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新浜町内会及び南蒲生町内会に対し、「ふる里づくり専門家」を派遣、再建した集会所を活用したコミュニティ活性化等の活動へ必要経費を助成 ・福田町南1丁目公園仮設住宅地内から移築された「みんなの家」の管理を新浜町内会に委託し、住民主体の交流施設として活用 	<p>○</p>
<p>⑪六郷東部地区現地再建まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「六郷東部ふるさと交流祭」の実施を支援し、住民と多様な主体との交流促進を支援(参加者数約350人) ・東六郷小学校跡地について実施設計を実施 ・東六郷小学校跡地を会場に「来てけさいん♪六郷東部夏祭り」を開催(参加者数約350人) ・東六郷コミュニティ・センターを会場に「第4回鎮魂の花火」を開催(参加者数約200人) ・市道中学校前長屋敷線外2線 舗装・側溝補修(1,950㎡ 36,923千円) ・市道北中谷地長屋敷西線外1線 津波避難経路(189m 37,103千円) ・市道井土藤塚1号線 津波避難経路(30m 4,499千円) ・市道広町中斉線 津波避難経路(160m 3,472千円) 	<p>○</p>
<p>主な課題及び今後の対応</p>	<p>【被災者生活再建支援事業】 仙台市内の仮設入居世帯に対し、被災元自治体とも連携し、引き続き再建に向けた支援を実施する。また、復興庁の補助金終了に伴い、令和2年度より「高齢者等生活支援システム」を高齡企画課所管の「緊急通報システム」に移行する予定であり、円滑に引き継がれるよう担当課と調整を行う。</p> <p>【被災者の健康支援】 個別健康支援に加え、運動教室の開催、地域のサロン活動への誘導やサロン活動支援など、地域コミュニティ支援を合わせて実施する。あわせて復興公営住宅近辺の商業施設において、住民が気軽に立ち寄り看護師らに健康相談ができる「まちの保健室」を開催する。</p> <p>【仙台港周辺地区復興支援事業】 引き続き、本市助成金制度や復興特区制度により、蒲生北部地区への産業集積を図り、同地区市有地の事業者募集等の手続きを進めるとともに、仙台国際貿易港整備利用促進協議会における各種事業の実施等により、仙台港の利用促進を図る。</p> <p>【東部地域移転跡地利活用推進事業】 空きブロックへの対応については、二次募集で落選した事業者との調整を行うほか、三次募集の実施を検討する。</p> <p>【ふるさとの杜再生プロジェクト】 植樹後の維持管理について、国や県等関係機関と連携の上、市民協働により着実に実施する。</p> <p>【海辺のふる里づくり支援事業】 南蒲生町内会に対し、再建した集会所を活用したコミュニティ活性化等の活動への助成を継続して行う。また、「新浜みんなの家」が住民主体の交流施設として活用されるよう引き続き支援する。</p> <p>【六郷東部地区現地再建まちづくり】 東六郷小学校跡地利活用について、整備後のコミュニティ広場の利用に関し、地域住民や利用が想定される団体等による意見交換会を実施する。また、平成30年度は震災後初めて「夏まつり」を開催することができたことから、鎮魂の花火とあわせて継続実施し、にぎわいの再生と交流機会の創出に取り組んでいく。</p>	

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

2. 安全・安心確保の取り組み

目標	津波により被害を受けた東部地域の津波防災対策をはじめとする安全・安心確保の取り組みを進めるとともに、震災の経験と教訓を活かした防災・仙台モデルの構築を図ります。																									
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。																									
個別事業名	①帰宅困難者対策事業 ②東部復興道路整備事業 ③緊急輸送道路防災対策事業 ④津波避難施設整備事業 ⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業																									
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績																						
				H28年度	H29年度	H30年度																				
	帰宅困難者一時滞在所の滞在可能人数	平成30年度末 仙台駅周辺 11,000人以上 長町駅周辺 2,000人以上 泉中央駅周辺 1,000人以上 を確保	平成26年度末 仙台駅周辺 8,500人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 0人	仙台駅周辺 9,610人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 0人	仙台駅周辺 11,150人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 1,000人	仙台駅周辺 11,200人 長町駅周辺 2,000人 泉中央駅周辺 1,200人																				
	かさ上げ道路の整備	平成30年度に整備完了	-	用地買収 工事施工	用地買収 工事施工	用地買収 工事施工																				
	避難道路の整備	平成30年度に整備完了	-	用地買収 工事施工	用地買収 工事施工	工事施工																				
	避難経路の整備	平成30年度に整備完了	-	測量設計 工事施工	測量設計 工事施工	工事施工																				
	緊急輸送道路における橋梁(20橋)の耐震補強	平成30年度末までに16橋完了	平成27年度末 0橋	1橋 (累計:1橋)	0橋 (累計:1橋)	0橋 (累計:1橋)																				
	緊急輸送道路におけるのり面(19箇所)の落石対策	平成30年度末までにすべて完了	平成27年度末 5箇所	2箇所 (累計:7箇所)	2箇所 (累計:9箇所)	4箇所 (累計:13箇所)																				
	津波避難施設の整備	平成28年度に整備完了	-	整備完了	-	-																				
消防ヘリコプターの活動拠点の整備	平成29年度に整備完了	-	基礎工事実施	整備完了	運用開始																					
実施計画における年次計画	①帰宅困難者対策事業																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">一斉帰宅抑制の啓発</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">一時滞在所の確保</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">帰宅支援ステーションの展開</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	一斉帰宅抑制の啓発			一時滞在所の確保			帰宅支援ステーションの展開			仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施							
H28年度	H29年度	H30年度																								
一斉帰宅抑制の啓発																										
一時滞在所の確保																										
帰宅支援ステーションの展開																										
仙台駅周辺帰宅困難者対策等連絡協議会の運営・対応訓練の実施																										
②東部復興道路整備事業																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(かさ上げ道路、避難道路)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">用地取得</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">整備工事</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(避難経路)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">測量・設計・用地取得</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">整備工事</td> </tr> </tbody> </table>						H28年度	H29年度	H30年度	(かさ上げ道路、避難道路)			用地取得			整備工事			(避難経路)			測量・設計・用地取得			整備工事		
H28年度	H29年度	H30年度																								
(かさ上げ道路、避難道路)																										
用地取得																										
整備工事																										
(避難経路)																										
測量・設計・用地取得																										
整備工事																										

③緊急輸送道路防災対策事業

H28年度	H29年度	H30年度
	橋梁耐震補強工事	
	落石対策工事	
	路面下空洞対策工事	

④津波避難施設整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
本体整備工事	施設維持管理	
避難場所標識設置工事		

⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
庁舎・格納庫等建設工事		

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①帰宅困難者対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 一時滞在所について、仙台駅周辺で新たに50人分(2施設150人増、1施設100人減)、泉中央駅周辺で新たに200人分(2施設増)を確保 仙台駅周辺帰宅困難者対策連絡協議会において、帰宅困難者対応訓練を実施 仙台市内の大学(3大学160人)及び企業(1企業153人)を対象に一斉帰宅抑制に関する説明会を開催し、同時にチラシを配布(計1,908枚) 	○
	②東部復興道路整備事業	<ul style="list-style-type: none"> かさ上げ道路(用地買収:1,287㎡、盛土工事完成:8.4km、舗装・交通安全施設工事着手:10.2km) 避難道路(道路工事着手:1.1km、道路工事完成:3.2km) 避難経路(工事10カ所完了) 	△
	③緊急輸送道路防災対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 太白大橋ほか2橋の耐震補強工事を実施 高砂橋ほか5橋の設計を実施 仙台三本木線(山の寺)ほか3カ所において、落石防護柵設置などの落石対策を実施 	△
	④津波避難施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度までで整備予定の13施設全てが完成 	○
	⑤消防ヘリコプター活動拠点復旧整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度までで格納庫等の建設工事が完了し、平成30年4月1日より運用を開始 	○
	主な課題及び今後の対応	<p>【帰宅困難者対策事業】 帰宅困難者とならないための一斉帰宅抑制について、引き続き啓発を行う。また、緊急退避場所及び一時滞在所の運営課題抽出と対策、環境改善等について、協議会での検討や訓練での実証を行い、マニュアル等への反映を行う。あわせて要配慮者および外国人への対応を検討する。</p> <p>【東部復興道路整備事業】 かさ上げ道路については、令和元年度秋の全線開通および開通後の整備となる側道や取付道路の令和元年度内完成に向け、工事を進める。避難経路についても、かさ上げ道路供用までに完成するよう工事を進める。また、避難道路については、令和元年夏までの完成に向け、工事を進める。</p> <p>【緊急輸送道路防災対策事業】 橋梁の耐震補強及びのり面の落石対策について、緊急度や対策順位の高いものから着実に対策を進める。</p>	

重点事業 自己評価シート

Ⅱ 復興まちづくりを進める3つの政策方針

3. 震災の経験と教訓の継承・発信に向けた取り組み

目標	震災前の地域のくらしや文化、震災の被災状況や復旧・復興の過程を後世に伝え、本市や東北における震災の経験や知見を世界へ発信します。																															
総括	一部で遅れが生じた事業はあるが、概ね計画どおり進捗した。																															
個別事業名	①防災環境都市づくり推進事業 ②震災復興メモリアル事業 ③「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌※」の編さん ※(仮称)仙台市復興記録誌																															
関連する指標等	指標等	目標	基準値等	実績																												
				H28年度	H29年度	H30年度																										
	仙台防災未来フォーラム及び関連行事への参加者数	平成30年度で2,600人に増加	平成27年度2,000人	2,100人	11,150人	3,500人																										
	国際会議における本市の防災・復興・環境の取り組みの年間発信件数	平成30年度で12件に増加	平成27年度6件	7件	10件	10件																										
	せんだい3.11メモリアル交流館来場者・利用者数	平成30年度で50,000人に増加	平成27年度30,000人	55,473人	60,043人	59,035人																										
	震災遺構の整備(荒浜小学校校舎)	平成28年度に整備完了	-	整備完了	(4月開館)	-																										
	「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌※」の編さん ※(仮称)仙台市復興記録誌	平成28年度中に発行	-	発行済	「東日本大震災 仙台復興のあゆみ」英語版を発行済 各記録誌を他自治体等へ送付したほか、市内施設等で配布																											
実施計画における年次計画	①防災環境都市づくり推進事業																															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(防災環境都市づくりプロモーション)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ニュースレター発行</td> </tr> <tr> <td colspan="3">広報ツール制作、活用</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)</td> </tr> <tr> <td>アジア防災関係会議</td> <td>国連防災グローバル・プラットフォーム会合</td> <td>アジア防災関係会議</td> </tr> <tr> <td colspan="3">みやぎ防災・減災円卓会議</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(市民参加による普及啓発)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">市民参加の防災フォーラム開催 (毎年)</td> </tr> </tbody> </table>					H28年度	H29年度	H30年度	(防災環境都市づくりプロモーション)			ニュースレター発行			広報ツール制作、活用			(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)			アジア防災関係会議	国連防災グローバル・プラットフォーム会合	アジア防災関係会議	みやぎ防災・減災円卓会議			(市民参加による普及啓発)			市民参加の防災フォーラム開催 (毎年)		
	H28年度	H29年度	H30年度																													
	(防災環境都市づくりプロモーション)																															
ニュースレター発行																																
広報ツール制作、活用																																
(国内外とのネットワーク構築・連携、国際会議での発言)																																
アジア防災関係会議	国連防災グローバル・プラットフォーム会合	アジア防災関係会議																														
みやぎ防災・減災円卓会議																																
(市民参加による普及啓発)																																
市民参加の防災フォーラム開催 (毎年)																																
②震災復興メモリアル事業																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>震災遺構保存整備工事</td> <td colspan="2">一般公開</td> </tr> <tr> <td colspan="3">せんだい3.11メモリアル交流館運営</td> </tr> <tr> <td>市中心部拠点施設検討</td> <td colspan="2">施設整備</td> </tr> <tr> <td>アーカイブのあり方検討</td> <td>アーカイブシステム整備</td> <td>アーカイブ発信</td> </tr> </tbody> </table>					H28年度	H29年度	H30年度	震災遺構保存整備工事	一般公開		せんだい3.11メモリアル交流館運営			市中心部拠点施設検討	施設整備		アーカイブのあり方検討	アーカイブシステム整備	アーカイブ発信													
H28年度	H29年度	H30年度																														
震災遺構保存整備工事	一般公開																															
せんだい3.11メモリアル交流館運営																																
市中心部拠点施設検討	施設整備																															
アーカイブのあり方検討	アーカイブシステム整備	アーカイブ発信																														
③「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌」の編さん																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「(仮称) 仙台市復興記録誌」製作・発刊</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					H28年度	H29年度	H30年度	「(仮称) 仙台市復興記録誌」製作・発刊																								
H28年度	H29年度	H30年度																														
「(仮称) 仙台市復興記録誌」製作・発刊																																

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①防災環境都市づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「仙台防災未来フォーラム2019」の開催(来場者数3,500人) ・国際会議でのプレゼンテーション、スピーチ、展示、パンフレット配布等 ・海外からの視察等受入(54件) ・ニューズレター(市民向け・海外向け)、パンフレット「防災環境都市・仙台」配布 	○
	②震災復興メモリアル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・震災遺構荒浜小学校の一般公開(来館者数79,705人) ・震災遺構住宅基礎の保存工事発注 ・せんだい3.11メモリアル交流館運営(3回の企画展や関連イベントの開催、各種団体の視察受入れ等) ・中心部震災メモリアル拠点検討委員会を設置し、令和2年度末の基本構想策定に向け検討を開始 ・震災アーカイブについて、震災後の対応にあたった職員の経験を聞きとり記録に残す「震災エスノグラフィ調査」を実施 ・せんだいメディアテークにおける「3がつ11にちをわすれないためにセンター」において、映像5本、写真68枚を追加でウェブサイトに公開。また、記録の展示・上映を行う「星空と路」や対話の場「相馬クロニクルダイアログ」を実施したほか、震災の記憶を新たに収集する「録音小屋」を設置 ・東六郷小学校跡地に震災モニュメントを整備 	△
	③「東日本大震災 仙台市復興五年記録誌」の編さん	<ul style="list-style-type: none"> ・「東日本大震災 仙台市 復興五年記録誌」(行政・研究者向け記録誌/H28年発行)を全国の自治体等に送付 ・「東日本大震災 仙台復興のあゆみ」(一般市民向け記録誌)、「Road to Recovery SENDAI」(「仙台復興のあゆみ」英語版)を市内施設等で配布 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【防災環境都市づくり推進事業】 引き続き国連等との関係維持に努めるほか、本市の取組みを紹介する広報物を積極的に活用し、国際発信の機会を捉える。</p> <p>【震災復興メモリアル事業】 「震災遺構仙台市立荒浜小学校」、「せんだい3.11メモリアル交流館」、および令和元年8月に公開開始した「震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎」との連携により、市内外の小学校・各種団体の来場者数の維持・増加を図る。 「中心部震災メモリアル拠点」については、検討委員会委員だけでなく市民等の意見も踏まえながら基本構想の策定に向けた検討を進める。 「震災アーカイブのあり方」を踏まえて引き続き震災記録の収集と利活用を進めるとともに、中心部震災メモリアル拠点とあわせてアーカイブの整備に向けた検討を進める。また、震災から10年を経過することを契機として効果的な記録の収集・発信に向けて事業内容を検討する。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

1. 未来を創る市民力の拡大と新しい市民協働の推進

目標	<p>地域や社会に向け市民が力を発揮することで都市に活力が生まれ、コミュニティのきずなが強まるとともに、一人ひとりの自己実現や生きがいにつながります。自ら主体となって活動する市民が、さまざまな学びによって力を蓄え、地域で互いに支え合い、新しい価値の創出にチャレンジできる環境を整える必要があります。</p> <p>成熟社会における本市の持続的な発展を支えるためには、幅広い世代からなる個人や地域団体、NPO、企業等、多様な主体による知恵を集め、それぞれの得意分野を生かした協働を進めていくことが重要です。</p> <p>一人ひとりが輝く杜の都の実現をめざし、未来を創る市民力を育み広げ、都市の豊かさや暮らしの充実に多面的に生かす市民協働を推進します。</p>																																				
総括	全ての事業において、着実に進捗した。																																				
個別事業名	<p>①多様な市民活動促進事業 ②まちづくり支援専門家派遣事業 ③新しい市民協働の仕組みづくり事業 ④区民協働まちづくり事業</p>																																				
実施計画における年次計画	<p>①多様な市民活動促進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> </tbody> </table> <p>②まちづくり支援専門家派遣事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> </tbody> </table> <p>③新しい市民協働の仕組みづくり事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td colspan="2"> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td colspan="2"> </td> </tr> </tbody> </table> <p>④区民協働まちづくり事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度				H28年度	H29年度	H30年度							H28年度	H29年度	H30年度													H28年度	H29年度	H30年度			
H28年度	H29年度	H30年度																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																			
H28年度	H29年度	H30年度																																			

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①多様な市民活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動サポートセンターの運営(利用者数 68,815人、相談件数882件) ・「仙台ミラソン」を実施し、若者が地域課題の解決策を企画・立案するなどの社会参加を推進(学生参加者数:38人) ・「仙台若者アワード」を開催し、社会課題解決のための優れた活動をした若者の団体を表彰(26団体がエントリー) ・企業の社会貢献活動の促進の一環として、「マチノワ縁日」を開催(参加者数延べ452人) 	○
	②まちづくり支援専門家派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアドバイザーを派遣(13地区) ・まちづくりコンサルタントを派遣(2地区) 	○
	③新しい市民協働の仕組みづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民協働事業提案制度」の実施(4事業を採択・実施)、平成31年度実施事業について4事業を採択候補事業に選定 ・「協働まちづくり推進助成事業」の実施(4事業)、平成31年度事業として4事業を採択候補事業に選定 ・「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」第1期計画(平成28～30年度)の取組状況や新規施策の状況を踏まえ、第2期計画(平成31～令和2年度)を策定 ・協働に関する情報を総合的に案内する「協働ナビゲーションサイト」を新たに開設 	○
	④区民協働まちづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・西公園キャンドルライトファンタジー事業(青葉区)、大倉ダムの魅力発信事業(宮城総合支所)、地域はっぴい子育て支援事業(宮城野区)、六・七郷堀サポーターズ(若林区)、ディスカバーたいはく(太白区)、第21回秋保地区スポーツレクリエーション大会(秋保総合支所)、泉ヶ岳悠・遊フェスティバル(泉区)など、各区及び総合支所において、地域団体との協働により各種事業を実施 ・各区において、まちづくり活動助成を実施(青葉区8事業、宮城野区7事業、若林区3事業、太白区6事業、泉区3事業) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【多様な市民活動促進事業】 市民活動や多様な主体による協働の拠点施設として、市民活動サポートセンターの運営を継続的に行うとともに、NPOや若者等の多様な主体の活動の促進を図る。</p> <p>【まちづくり支援専門家派遣事業】 区役所等の関係各課や専門家との連携を高め、まちづくり支援専門家の幅広い分野での活用を目指す。</p> <p>【新しい市民協働の仕組みづくり事業】 協働によるまちづくりを推進するため、「仙台市協働まちづくり推進プラン2016」第2期計画に掲げる事業を着実に実施していく。また、年度毎に施策の進捗状況の点検を行い、効果的な推進を図る。</p> <p>【区民協働まちづくり事業】 まちづくり活動の担い手となる地域の人材発掘や、若い世代の参画を推進する仕掛けづくり及び助成終了後の活動のフォローアップについて検討を行う。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

2. 地域特性に応じたきめ細かな地域づくりの推進

目標	<p>東日本大震災を経験した地域、高齢化や人口減少が進む地域、人口が増加している地域など、地域活動の担い手の状況や地域団体間の連携の度合い、活動の頻度や種類など、地域ごとの状況や課題は多様化・複雑化しており、地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進していくためのきめ細かな支援が求められています。</p> <p>このため、区役所の「地域協働拠点」としての機能を強化するとともに、市役所全体が地域を重視した組織横断的な対応を強化するなど、地域の実情に応じた地域づくりを進めるための体制整備が必要です。</p> <p>市民の暮らしの基盤である地域社会を安心・快適でより良いものにするために、個々の特性に応じた課題や理念の共有のもと、市民協働による地域づくりを進めます。</p>																																																			
総括	全ての事業において、着実に進捗した。																																																			
個別事業名	<ul style="list-style-type: none"> ①区役所のまちづくり拠点機能の強化 ②東西線沿線にぎわい推進事業 ③西部地区(青葉区)活性化事業 ④西部地区(太白区)活性化事業 ⑤西部地区(泉区)活性化事業 ⑥市民センターによる地域づくり支援事業 ⑦市民センター整備事業 ⑧コミュニティ・センター整備事業 																																																			
実施計画における年次計画	<p>①区役所のまちづくり拠点機能の強化</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東西線沿線にぎわい推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくり人材育成とプロジェクトの実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">情報発信メディアの管理</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">まちづくり活動への助成</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催</td> </tr> </tbody> </table> <p>③西部地区(青葉区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">ラサント駐車場整備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">ラサントを拠点とした賑わい創出に向けた地域との連携・推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>④西部地区(太白区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">地区活性化推進策・支援策検討</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">活性化に向けた取り組みの実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤西部地区(泉区)活性化事業</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">自然体験会の開催</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">泉西部地区観光イベントの開催</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施			H28年度	H29年度	H30年度	まちづくり人材育成とプロジェクトの実施			情報発信メディアの管理			まちづくり活動への助成			東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等			沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催			H28年度	H29年度	H30年度	ラサント駐車場整備			ラサントを拠点とした賑わい創出に向けた地域との連携・推進			H28年度	H29年度	H30年度	地区活性化推進策・支援策検討			活性化に向けた取り組みの実施			H28年度	H29年度	H30年度	自然体験会の開催			泉西部地区観光イベントの開催		
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
各区による地域の特性に応じた地域づくり事業の実施																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
まちづくり人材育成とプロジェクトの実施																																																				
情報発信メディアの管理																																																				
まちづくり活動への助成																																																				
東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等																																																				
沿線のにぎわいづくりのためのイベント等開催																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
ラサント駐車場整備																																																				
ラサントを拠点とした賑わい創出に向けた地域との連携・推進																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
地区活性化推進策・支援策検討																																																				
活性化に向けた取り組みの実施																																																				
H28年度	H29年度	H30年度																																																		
自然体験会の開催																																																				
泉西部地区観光イベントの開催																																																				

⑥市民センターによる地域づくり支援事業

H28年度	H29年度	H30年度
	住民参画・問題解決型学習の推進	
	子ども参画型社会の創造支援	
	若者社会参画型学習の推進	
	学びのまち・仙台市民カレッジの開催	
	学習情報の提供・収集	

⑦市民センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
若林区中央市民センター別棟改築工事		
	西多賀市民センター改築工事	
旭ヶ丘市民センター整備に向けた調査・検討	基本設計・実施設計	
根白石市民センター大規模修繕工事		
馬場市民センター大規模修繕 設計・工事		
山田市民センター大規模修繕 設計・工事		
将監市民センター大規模修繕 設計・工事		
	茂庭台市民センター大規模修繕 設計・工事	
	大沢市民センター大規模修繕 設計・工事	
		若林市民センター大規模修繕 設計
		幸町市民センター大規模修繕 設計

⑧コミュニティ・センター整備事業

H28年度	H29年度	H30年度
東六郷コミュニティ・センター新築工事		
七郷六丁目コミュニティ・センター大規模修繕工事		
通町コミュニティ・センター大規模修繕工事		
台原コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
上野山コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
八幡コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
大和コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事		
	向山コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	南材コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
	東仙台コミュニティ・センター大規模修繕 設計・工事	
		郡山コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		北中山コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		鶴巻コミュニティ・センター大規模修繕 設計
		太白コミュニティ・センター大規模修繕 設計

個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
①区役所のまちづくり拠点機能の強化	・地域団体等との協働により、特定地域の困難課題解決のため「ふるさと底力向上プロジェクト」(11件)及びその他各区の地域特性に応じた事業等を実施	○
②東西線沿線にぎわい推進事業	・まちづくり人材育成講座「WE SCHOOL」を開講(受講者数161人、プロジェクト5件実現) ・東西線沿線の活性化、東西線の利用促進につながる事業への助成(3事業、約2,400人集客) ・東北工業大学と連携した東西線沿線まちづくりの研究等を実施 ・東西線沿線の賑わい創出につながるイベント「WE QUEST+」「エキナカ大学」「あらフェス」を開催、支援(約10,000人集客)	○
③西部地区(青葉区)活性化事業	・作並観光交流センター(ラサンタ)の運営・管理主体である作並振興協会が月1回企画調整会議を開催して、催事の企画充実、情報発信等を図り、賑わいの創出に向けた各種イベントを実施 ・作並振興協会と山形県内の各市町村が連携を図り、賑わいの創出や地域活性化に向けた各種イベントを運営 ・施設修繕などの環境整備を実施	○
④西部地区(太白区)活性化事業	・生出地区まちづくり委員会において、休校中の生出小学校赤石分校の利活用に向け青空レストラン等を開催 ・坪沼地区ふるさと活性化研究会において、旧坪沼小学校の利活用に向けた実証実験としてコミュニティカフェ等を開催 ・秋保体験観光創出支援事業として集会所を拠点とした交流カフェ「ぼんどころ」の運営を支援したほか、そばの郷秋保振興事業として「仙台秋保そばフェス2018」を実施し、地域特産のブランド向上を図った	○
⑤西部地区(泉区)活性化事業	・今後のまちづくりに向け、泉西部まちづくり懇談会キックオフミーティングを開催 ・地区の魅力の発信、活性化を図るため、地元団体との協働により泉ヶ岳における自然観察会や悠・遊フェスティバルを開催 ・泉かむりの里観光協会や仙台ロイヤルパークホテル等と連携し、SNS活用による情報発信を実施 ・泉ヶ岳ヒルクライム(参加者数約200人) ・泉かむりの里伝承物語(来場者数1,600人)	○
⑥市民センターによる地域づくり支援事業	・「子ども」「若者」「成人」を対象に市民参画型事業を継続して実施するとともに、公開による成果報告会を開催 ・生涯学習情報、地域情報等の提供を継続して実施 ・「学びのまち・仙台市民カレッジ」について、「地域づくり支援講座」のほか、受講者等が企画・運営を担う「市民プロデュース講座」等を継続して開催	○
⑦市民センター整備事業	・西多賀市民センター改築工事(建設)完了 ・旭ヶ丘駅前複合施設整備に向けた調査検討を継続 ・大沢市民センター、茂庭台市民センター大規模修繕工事完了 ・幸町市民センター、若林市民センター大規模修繕設計完了 ・将監市民センターは、児童センター等との複合施設整備にかかる基本設計を実施	○
⑧コミュニティ・センター整備事業	・台原、東仙台、南材、向山、泉ヶ丘コミュニティ・センター大規模修繕工事完了 ・鶴巻、太白、郡山、北中山コミュニティ・センター大規模修繕設計完了	○

個別事業内容

<p>主な課題及び 今後の対応</p>	<p>【区役所のまちづくり拠点機能の強化】 ふるさと底力向上プロジェクト等について地域の自主的な事業継続に向けた支援のあり方を検討する。</p> <p>【西部地区(青葉区)活性化事業】 作並観光交流センターの賑わい創出に向けた有効な施設活用方法を作並振興協会と共に検討する。また、作並・新川地区活性化連絡協議会において地域活性化に向けた利活用の手法について検討する。</p> <p>【西部地区(太白区)活性化事業】 生出地区については、生出地区まちづくり委員会等関係団体と協議しながら、ふるさと底力向上プロジェクト等を活用して活動を支援する。坪沼地区については、坪沼小学校の跡施設利用の協議とともに、坪沼地域全体のビジョンを検討する。野尻地区については、持続的活動を行うために地元住民の自主性を尊重しながら、地区外からのサポート体制作りを推進する。</p> <p>【西部地区(泉区)活性化事業】 インバウンド獲得を含めた地域内外への情報発信に取り組むとともに、地域資源を活用した体験型観光やイベント等の取り組みを支援していく。また、仙台西部の他地域との連携強化を進め、地域横断的な交流人口拡大と地域活性化を図る。</p>
-------------------------	--

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

3. 地方の時代を先導する市役所への自己変革

目標	<p>時代の転換期にあつて、持続可能な都市の発展を支え、未来に責任を持つ都市経営を実現するためには、本市の資産である多様な主体の活動を広げるとともに、健全で持続可能な財政基盤の確立など、さまざまな面から市役所の自己変革を進めることが求められます。</p> <p>財政制約の強まる中、健全性を高める財政運営に向け、ガス事業の民営化を推進し、効率的な行政運営の実現をめざすとともに、人材の育成や職員の資質向上、意識改革、組織改革などを進める必要があります。</p> <p>市民や東北の期待に応え、創造的な都市経営力を発揮しながら地方の時代を先導し、仙台の未来に責任を持つことができる市役所への自己変革を加速します。</p>															
総括	全ての事業において、着実に進捗した。															
個別事業名	①ガス事業の民営化 ②人材育成機能・組織力の強化															
実施計画における年次計画	①ガス事業の民営化 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <td style="text-align: center;">H28年度</td> <td style="text-align: center;">H29年度</td> <td style="text-align: center;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">方向性に即したガス事業の展開 </td> </tr> </table> ②人材育成機能・組織力の強化 <table border="1" style="margin: 5px 0;"> <tr> <td style="text-align: center;">H28年度</td> <td style="text-align: center;">H29年度</td> <td style="text-align: center;">H30年度</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">事例研究・調査 </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">人材育成等に向けた取り組みの実施 </td> </tr> </table>	H28年度	H29年度	H30年度	方向性に即したガス事業の展開			H28年度	H29年度	H30年度	事例研究・調査			人材育成等に向けた取り組みの実施		
H28年度	H29年度	H30年度														
方向性に即したガス事業の展開																
H28年度	H29年度	H30年度														
事例研究・調査																
人材育成等に向けた取り組みの実施																

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①ガス事業の民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・各般の経営改善の実施 ・本市域で事業展開を行う可能性があるエネルギー事業者等との意見交換を実施 	○
	②人材育成機能・組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・税務及び福祉の2分野で高い専門性を持つ職員を育成・配置するため、キャリア選択職員の公募を実施 ・管理職、係長職以下ともに人事評価の結果を昇給及び勤勉手当に反映 ・若手職員の仕事基礎力強化等の研修を実施 ・管理監督職向けに部下指導力向上等の研修を実施 ・市職員をNPO等市民活動団体に派遣する「協働推進人材育成事業～NPO留学してみませんか～」を実施(受入団体数16団体、研修参加者数20人) 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【ガス事業の民営化】 ガス事業民営化について具体的に検討していくため、外部有識者等で構成する委員会を設置し、民営化手法や事業譲渡時期等についての諮問を行う。さらに委員会からの答申を受け、令和元年度末までに「(仮称)仙台市ガス事業民営化計画」を策定する。</p> <p>【人材育成機能・組織力の強化】 新たな人事評価制度の適切な運用や、キャリア選択制度の継続実施など、適材適所の人員配置や職員の能力向上に向けた取り組みを進める。</p>		

重点事業 自己評価シート

Ⅲ 都市像の実現に向けた4つの経営方針

4. 公共施設の経営改革

目標	<p>高度成長期や政令指定都市移行時期に整備した庁舎や市民利用施設、廃棄物処理施設、公園、道路、地下鉄、上下水道など、幅広い分野にわたる数多くの施設が更新の時期を迎える中、中長期的な視点に立った公共施設の整備や維持管理が求められます。</p> <p>また、市民ニーズの多様化や財政制約の高まりの中で、新たなニーズへの現有施設を活用した対応や整備運営における民間活力活用の一層の促進、市民が担い手となる分野の拡大など、安定した公共施設運営に向けた取り組みが必要になっています。</p> <p>公共施設に関する総合的なマネジメントの仕組みを構築するとともに、その確実な推進のための組織横断的な体制を整備するなど市民ニーズに対応し安心して利用できる施設を将来にわたって持続的に提供できるよう、公共施設の総合的な管理・保全の強化や現有施設活用による経営改革を進めます。</p>																																																						
総括	全ての事業において、着実に進捗した。																																																						
個別事業名	<p>①公共施設総合マネジメント推進事業</p> <p>②スポーツ施設大規模修繕・改修事業</p> <p>③道路施設等長寿命化修繕事業</p> <p>④下水道改築更新事業</p>																																																						
実施計画における年次計画	<p>①公共施設総合マネジメント推進事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">改修設計→改修工事のサイクル</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(大規模施設等)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">○インフラ系施設の長寿命化対策</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">○施設の質・量の適正化</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施設データの 一元的整備 検討体制の整備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討</td> </tr> </tbody> </table> <p>②スポーツ施設大規模修繕・改修事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">計画的な大規模修繕・改修の実施</td> </tr> </tbody> </table> <p>③道路施設等長寿命化修繕事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">対象施設の調査・点検</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">対策工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>④下水道改築更新事業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">H28年度</th> <th style="width: 33%;">H29年度</th> <th style="width: 33%;">H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">管きよの改築更新（設計・工事）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">設備の改築更新（設計・工事）</td> </tr> </tbody> </table>	H28年度	H29年度	H30年度		○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)		改修設計→改修工事のサイクル			(大規模施設等)			改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル			○インフラ系施設の長寿命化対策			分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施			○施設の質・量の適正化			施設データの 一元的整備 検討体制の整備	施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討		H28年度	H29年度	H30年度	計画的な大規模修繕・改修の実施			H28年度	H29年度	H30年度	対象施設の調査・点検			個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定			対策工事			H28年度	H29年度	H30年度	管きよの改築更新（設計・工事）			設備の改築更新（設計・工事）		
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
	○施設の長寿命化の推進 (学校・市民センター等)																																																						
改修設計→改修工事のサイクル																																																							
(大規模施設等)																																																							
改修基本計画を策定の上、改修設計→改修工事のサイクル																																																							
○インフラ系施設の長寿命化対策																																																							
分野ごとに整備計画を策定し、長寿命化対策を実施																																																							
○施設の質・量の適正化																																																							
施設データの 一元的整備 検討体制の整備	施設データの更新・活用、施設の将来のあり方検討																																																						
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
計画的な大規模修繕・改修の実施																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
対象施設の調査・点検																																																							
個別施設ごとの長寿命化修繕計画策定																																																							
対策工事																																																							
H28年度	H29年度	H30年度																																																					
管きよの改築更新（設計・工事）																																																							
設備の改築更新（設計・工事）																																																							

	個別事業名	H30年度の主な実績	進捗状況
個別事業内容	①公共施設総合マネジメント推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設総合マネジメント推進本部会議」を開催(2回) ・「公共施設の『見える化』」の取組みについて、施設データの公表範囲を拡充(児童館、老人福祉センター等を追加) ・複合化のモデル地区に選定した泉区将監地区において複合施設整備にかかる基本設計を実施したほか、太白区生出地区において同様の事業を開始 ・学校や市民センターなど改修設計(17施設)、改修工事(16施設)を実施 ・大規模施設の改修について改修基本計画の策定(文学館など3施設)、改修設計を実施(太白区役所) ・「仙台市市有建築物低炭素化整備指針」に基づき、改修設計・改修工事を実施(設計:17施設, 工事:16施設) ・バス営業所や整備工場などの自動車運送施設の改修・更新計画の素案を修正するとともに、実沢営業所整備工場第二リフト等の更新工事を実施 ・地下鉄南北線建築物の耐久性(健全度)調査を実施 	○
	②スポーツ施設大規模修繕・改修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設全体の老朽化の程度等を踏まえ、長寿命化に向けた改修を実施(仙台市体育館、若林体育館、宮城広瀬温水プール) 	○
	③道路施設等長寿命化修繕事業	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検を実施(橋梁233橋、ボックスカルバート11基、トンネル2本、横断歩道橋8橋、道路照明灯4,697基、共同溝6.1km、地下駐輪場3施設) ・長寿命化修繕計画の策定・公表(ペDESTリアンデッキ、道路照明施設) ・要対策施設について修繕工事を実施(橋梁14橋、トンネル4本、舗装16.8km) 	○
	④下水道改築更新事業	<ul style="list-style-type: none"> ・経年使用等により構造面・機能面で高いリスクを持つ下水道施設を優先的に改築更新することにより、下水道の機能維持を図るため、管きよの改築更新(着手3.5km)、設備の改築更新(広瀬川浄化センター、六丁目ポンプ場、無串ポンプ場ほか)を実施 	○
主な課題及び今後の対応	<p>【公共施設総合マネジメント推進事業】 施設ごとに異なる制約条件や工程に配慮しつつ、各施設の老朽化対策を着実に進める。特に本市公共施設ストックの約4割を占める学校教育施設については、地域コミュニティの核であるとともに、災害時には避難所にもなることから、安心して利用できる施設を将来にわたって持続的に提供していくため、効果的・効率的な整備・保全の計画を関係部局が連携して検討を進め、老朽化対策に取り組んでいく。</p> <p>【スポーツ施設大規模修繕・改修事業】 施設規模等に応じて、適宜、事前調査を行い、長寿命化改修を基本とした施設ごとの整備方針を定め、利用者等に配慮したスケジュールを策定し、改修等を実施する。</p> <p>【道路施設等長寿命化修繕事業】 今後も5年に一度の定期点検を継続するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、着実に対策を講じる。</p>		